

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)1年次		授業方法	講義・実習		講義時期	通年
授業科目	総合学習		担当者	長嶺 博紀・中村 響		科目必修区分	必修
授業概要	「豊かな人間性」を育むため、学内外の様々な授業や行事を通して協調性・思いやり・気配り・積極性・感謝など自身の体験を通して身につける科目として位置付ける。						
到達目標	学生クレド(感謝、感動、思いやり・気配り、明朗、挨拶、素直、プラス思考、チャレンジ精神、永久戦力)に基づいて行動することが出来る。						
授業計画	内 容						授業時間数
	1	入学オリエンテーション					36
	2	志学講演会					4
	3	親睦会					6
	4	クラス行事					6
	5	ビーチパーティ					6
	6	学期初め・末HR					14
	7	学園祭					40
	8						
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
	16						
	17						
	18						
	19						
	20						
	21						
	22						
	23						
	24						
	25						
	26						
	27						
	28						
	29						
	30						
				科目単位数	2	合計時間数	112
教科書							
時間外学習	各授業・行事における事前準備や調べ学習を指示。前後の各実施委員会活動						
成績評価方法	出席率100pt						
	学校基準により4段階評価とする						
担当詳細	教員		備考				
実務経験紹介							

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)1年次		授業方法	講義	講義時期	前期
授業科目	コンピュータ概論 I A(コンピュータ概論)		担当者	伊禮 利一	科目必修区分	必修
授業概要	コンピュータのハード技術やソフト技術に関する知識を初歩から学び、ICT(IT)技術者として働くための専門知識を学習する。					
到達目標	・サーティファイ情報処理検定(3級)に合格できる ・基本情報技術者試験(国家試験)の内容が理解できる ・目的に応じてコンピュータの活用ができる					
授業計画	内 容				授業時間数	
	1	授業の進め方の説明、自己紹介、イントロダクション				2
	2	【1章】コンピュータの基礎知識				2
	3	【2章】コンピュータの数値表現(情報表現、基礎変換、補数、数値表現など)				9
	4	【3章】ハードウェア(プロセッサ、論理演算と論理回路、記憶装置など)				8
	5	【4章】システムの構要素(システムの評価指標、システムの構成、高信頼化技)				8
	6	【5章】ソフトウェア(ソフトウェアの分類とOS)				8
	7	【6章】マルチメディア				4
	8	サーティファイ情報処理技術者試験3級検定対策(試験時間・解説含む)				12
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
				科目単位数	2	合計時間数
教科書	コンピュータ概論 情報処理検定問題集(3級・2級)					
時間外 学習	授業時間内で終わらなかった点をClassroomにて質疑応用。					
	実習課題や演習問題集にて自主学習。					
成績評価 方法	授業態度10pt、章テスト30pt、検定試験得点40pt、検定対策模擬試験20pt					
	学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)1年次		授業方法	講義	講義時期	前期
授業科目	コンピュータ概論ⅡA(マネジメントと情報化)		担当者	赤嶺 和人	科目必修区分	必修
授業概要	ストラテジおよびマネジメント分野の基本的かつ普遍的な知識の習得を目的とする。 企業における経営戦略と担当業務の関連性、システム開発のライフサイクル、プロジェクトマネジメント、サービスマネジメントおよびシステム監査などの知識を学習する。					
到達目標	・サーティファイ情報処理検定3級に合格できる ・基本情報技術者試験(国家試験)の内容が理解できる ・職業人としてIT(情報技術)の基本的な知識を活用し、上位者とのコミュニケーション、業務分析と解析およびシステム化の支援を行う事ができる。					
授業計画	内 容				授業時間数	
	1	オリエンテーション:科目概要、目的、目標、シラバス、テキスト解説				2
	2	第1章 システム開発とマネジメント				12
	3	第2章 サービスマネジメントとシステム戦略				10
	4	第3章 企業と経営戦略				11
	5	サーティファイ情報処理技術者試験3級検定対策(試験時間・解説含む)				15
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
			科目単位数	2	合計時間数	50
教科書	マネジメントと情報化 サーティファイ情報処理検定問題集(3級・2級)					
時間外 学習	授業時間内で終わらなかった点をClassroomにて質疑応用。					
	実習課題や演習問題集にて自主学習。					
成績評価 方法	出席率・授業態度20pt、単元テスト20pt、期末試験30pt、検定試験30pt					
	学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)1年次		授業方法	講義		講義時期	前期
授業科目	コンピュータ概論ⅢA(システム開発技術)		担当者	渡具知 斉		科目必修区分	必修
授業概要	コンピュータにおける、データベース、ネットワーク、セキュリティに関する知識を初歩から学び、ICT(I T)技術者として働くための専門知識を学習する。						
到達目標	・サーティファイ情報処理検定2級に合格できる ・基本情報技術者試験(国家試験)の内容が理解できる ・目的に応じてコンピュータの活用ができる						
授業計画	内 容						授業時間数
	1	第1章 データベース					
	2	1節 データのモデル化					2
	3	2節 データベース設計					2
	4	3節 データの正規化					2
	5	4節 SQLの基本					2
	6	5節 SQLの応用					2
	7	6節 データベースの演算					2
	8	7節 データベース管理システム					2
	9	8節 データベース応用					2
	10	章末テスト データベース レポート形式					2
	11	第2章 ネットワーク					
	12	1節 ネットワーク方式					2
	13	2節 OSI基本参照モデル					2
	14	3節 TCP/IPプロトコル					2
	15	4節 IPアドレス					2
	16	5節 ネットワーク管理					2
	17	6節 TCP/IPアプリケーション					2
	18	7節 ネットワーク応用技術					2
	19	章末テスト ネットワーク レポート形式					2
	20	第3章 情報セキュリティ					
	21	1節 情報セキュリティ					2
	22	2節 システムへの攻撃手法					2
	23	3節 暗号化技術					2
	24	4節 認証技術					2
	25	5節 セキュリティ技術					2
	26	6節 セキュリティリスク					2
	27	7節 セキュリティ管理					2
	28	章末テスト 情報セキュリティ レポート形式					2
	29						
	30						
				科目単位数	2	合計時間数	50
教科書	システム開発と情報技術 情報処理検定問題集(3級・2級)						
時間外 学習	授業時間内で終わらなかった点をClassroomにて質疑応用。						
	実習課題や演習問題集にて自主学習。						
成績評価方法	授業態度10pt、章テスト40pt、検定試験得点40pt、検定対策模擬試験10pt						
	学校基準により4段階評価とする						
担当詳細	教員		備考				
実務経験紹介							

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)1年次		授業方法	講義、演習	講義時期	前期	
授業科目	プログラム設計 I A		担当者	長嶺 博紀	科目必修区分	必修	
授業概要	プログラムによってコンピュータ処理の流れを記述できるように、基本的なデータ処理のためのアルゴリズムを学習する。						
到達目標	・流れ図の基本パターン、繰り返し処理、整数の計算、探索処理、整列処理を理解できる。 ・疑似言語に処理の流れを理解でき、トレースできる。 ・ファイル処理、文字列操作、ビット操作の処理が理解できる。						
授業計画	内 容					授業時間数	
	1	第1章 アルゴリズム入門 アルゴリズムとは データ型 領域の概念 基本構造				2	
	2	第2章 流れ図の基本パターン 流れ図 連続型 選択型 反復型				4	
	3	第4章 計算のアルゴリズム 合計平均 べき乗計算 乗算除算 最大最小抽出 練習問題				7	
	4	第6章 配列操作 1次元配列 配列の異動 2次元配列 練習問題				8	
	5	第3章 疑似言語の基本パターン 疑似言語とは 疑似言語の表記法				1	
	6	疑似言語の言語部分 疑似言語の処理部分 練習問題				2	
	7	第5章 手続・関数 手続・関数とは 変数のスコープ 引数と戻り値 練習問題				2	
	8	第7章 探索のアルゴリズム 探索処理とは 線形探索 ブロック探索				6	
	9	2分探索 ハッシュ探索 練習問題				6	
	10	第8章 整列のアルゴリズム 整列処理とは 基本選択法 基本交換法 基本挿入法				8	
	11	練習問題(サーティファイ情報処理2級2部_疑似言語・基本情報技術者試験_疑似言語)				8	
	12						
	13						
	14						
	15						
	16						
	17						
	18						
	19						
	20						
	21						
	22						
	23						
	24						
	25						
	26						
	27						
	28						
	29						
	30						
				科目単位数	2	合計時間数	54
	教科書	情報処理試験合格へのパスポート アルゴリズムとデータ構造					
時間外 学習	復習:勉強した内容をその日のうちに再度復習 ※30分程度						
成績評価 方法	出席評価点10pt、チェックテスト40pt、評価テスト30pt、授業態度20pt						
	学校基準により4段階評価とする						
担当詳細	教員		備考				
実務経験紹介							

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)1年次		授業方法	講義、演習		講義時期	前期
授業科目	プログラミング言語 I A (Java)		担当者	赤嶺 達也		科目必修区分	必修
授業概要	Java言語の基本文法から、オブジェクト指向プログラミングを理解し、実習では練習問題を通して基礎的なプログラミングスキルを身につける。						
到達目標	・簡単なソースコードを読むことができる。 ・基本的なプログラミングスキルが身につくので、簡易プログラムが作成できる。 ・サーティファイ主催Java言語プログラミング能力認定試験2、3級が取得できる。						
授業計画	内 容						授業時間数
	1	オリエンテーション(授業の概要説明(進捗・評価など)、実習環境の設定と動作確認)					2
	2	第0章 Javaとオブジェクト指向					1
	3	第1章 Javaの基礎 (Javaとは・プログラムの構造確認・演算子・変数・型変換)					10
	4	第2章 分岐 (条件分岐とは・if文・if文のネスト・条件を組み合わせる・switch文)					7
	5	第3章 繰り返し (繰り返しとは・for文・多重ループ・while文・do-while文)					8
	6	第4章 クラスとメソッド (クラスとインスタンス・メソッドの定義・クラスのメンバ)					6
	7	第5章 カプセル化 (カプセル化とは・アクセス修飾子・コンストラクタ)					2
	8	第6章 クラスの継承 (継承とは・スーパークラスとサブクラス・ポリモフィズム)					3
	9	第9章 クラスライブラリ (Stringクラス、Integerクラス、列挙型)					4
	10	検定対策_演習(基本文法を用いたプログラム作成、コマンドライン引数など)					2
	11	検定対策 (Java言語3級対策、模擬試験の実施、解説)					14
	12						
	13						
	14						
	15						
	16						
	17						
	18						
	19						
	20						
	21						
	22						
	23						
	24						
	25						
	26						
	27						
	28						
	29						
	30						
				科目単位数	2	合計時間数	59
教科書	Java実践プログラミング、Javaプログラミング能力認定試験2、3級過去問題集						
時間外学習	授業内容の復習(検定対策時は、合格点に満たさない者は放課後講座を実施)						
成績評価方法	授業態度10pt、確認テスト(課題)20pt、試験得点(模擬、本試験含む)60pt、検定試験(合格有無)10pt						
	学校基準により4段階評価とする						
担当詳細	実務家		備考				
実務経験紹介		IT業界 (システムエンジニア歴 含む) 4年					

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)1年次		授業方法	講義、演習	講義時期	前期
授業科目	ITリテラシー 演習		担当者	渡具知 斉	科目必修区分	必修
授業概要	・生成AIの安全な利用方法を習得し、情報の真偽を見極める力を養うとともに、仕事・趣味・学習のあらゆる場面で活用できる実践力を身に付ける。 ・基本的なパソコンの操作の習得					
到達目標	・生成AIにおける情報漏洩や著作権のリスクを理解し、適切なプロンプト(指示文)を入力できる。 ・AIの回答を鵜呑みにせず、批判的思考を持って情報を取捨選択できる。 ・仕事、趣味、学習の各シーンにおいて、目的に応じた適切な指示をAIに与え、望ましい成果物を得られる。 ・ホームポジションでタイピングできる。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	第1章:AIって何？				4
	2	第2章:生成AIってどんなAI？				4
	3	第3章:いまの生成AIでできること				4
	4	第4章:生成AIを安全に使うために				5
	5	第5章:文章を作るAIを使いこなそう！				4
	6	期末テスト				1
	7	タイピング練習 ※各授業内で実施				
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
		科目単位数		1	合計時間数	22
教科書	マンガで合格！生成AIパスポート テキスト&問題集					
時間外学習	授業時間内で終わらなかった演習問題・演習課題					
成績評価方法	出席率10pt 文章入力スピード10pt 章末テスト50pt 期末テスト40pt 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)1年次	授業方法	講義、演習	講義時期	前期
授業科目	ビジネスマナーⅠ	担当者	藤吉 綾子	科目必修区分	必修
授業概要	第一印象の重要性を理解し、好感の持てる話し方を身につける				
到達目標	・笑顔や身だしなみなど第一印象の重要性を理解する ・立場の違いを考えた言葉遣いができる メールの書き方の基本を習得する ・ビジネス				
授業計画	内 容			授業時間数	
	1	ビジネスマナーとは(社会人として求められる資質、あいさつ・身だしなみの重要性)			2
	2	第一印象の重要性(立つ姿勢、お辞儀の仕方、語先後礼、表情訓練、発声練習)			2
	3	ビジネスメールの書き方			3
	4	話の仕方、聞き方のポイントと注意点(クッション言葉、前向きな会話)			2
	5	言葉遣い(敬語の種類と使い分け)			2
	6	【練習問題】			
	7	尊敬語と謙譲語の混同			2
	8	二重敬語			1
	9	【確認テスト】			2
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
		科目単位数		1	合計時間数
教科書	知っておきたいビジネスのマナー				
時間外学習	なし				
成績評価方法	出席率(25%)・授業態度(25%)・提出物(25%)・期末テスト(25%)				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)1年次		授業方法	講義、演習	講義時期	前期
授業科目	キャリアデザインⅠ		担当者	赤羽 利夫	科目必修区分	必修
授業概要	社会人にとって基本的な素養を知り、基礎スキルの一部について学習・演習する					
到達目標	・就職活動に必要なことを学び、社会でも役立つことを理解する ・ワークを通し、就職活動に必要なスキルの基礎を習得できる					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	1. 導入				1
	2	2. 良い習慣を身につける				1
	3	3. 大切にしていること(価値観)を知る				2
	4	4. 自己理解				4
	5	5. コミュニケーション力を高める				2
	6	6. 他者理解				2
	7	7. 思いを言語化する				2
	8	8. スケジュール管理、情報の利活用				2
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
				科目単位数	1	合計時間数
教科書						
時間外 学習						
成績評価 方法	授業態度30pt、取り組み姿勢40p、提出物30pt					
	学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)1年次		授業方法	講義、演習	講義時期	前期
授業科目	志学Ⅰ		担当者	長嶺 博紀	科目必修区分	必修
授業概要	キャリア教育の実現の鍵は専門能力および発揮できる力(人間性)であることを知り、永久戦力を目指す上での自己のあり方を考える。					
到達目標	・相手を尊重した行動ができる ・相手の意見を傾聴し、受け入れることができる ・心を込めた挨拶ができる ・感謝の気持ちを相手に伝えることができる					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	第1章:感謝				2
	2	第2章:感動				2
	3	第3章:思いやり・気くばり				2
	4	第4章:明朗				2
	5	第5章:挨拶				2
	6	第6章:素直				2
	7	第7章:プラス思考				2
	8	第8章:チャレンジ精神				4
	9	第9章:永久戦力				2
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
				科目単位数	1	合計時間数
教科書	KBC学園 志学Ⅰ・Ⅱ					
時間外学習	授業内の各種事例を深く掘り下げる。同様事例を独自に情報収集する					
成績評価方法	出席率10ps、授業態度20pt、科目終了後の授業レポート70pt					
	学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)1年次		授業方法	講義	講義時期	後期
授業科目	コンピュータ概論 I B(コンピュータ概論)		担当者	伊禮 利一	科目必修区分	必修
授業概要	コンピュータのハード技術やソフト技術に関する知識を初歩から学び、ICT(IT)技術者として働くための専門知識を学習する。					
到達目標	・サーティファイ情報処理検定(2級1部)に合格できる ・基本情報技術者試験(国家試験)の内容が理解できる ・目的に応じてコンピュータの活用ができる					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	【2章】コンピュータの数値表現				7
	2	【4章】システムの構成要素				6
	3	【5章】ソフトウェア				6
	4	【8章】アルゴリズムとデータ構造				3
	5	サーティファイ情報処理技術者試験2級1部検定対策(試験時間・解説含む)				18
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
				科目単位数	2	合計時間数
教科書	コンピュータ概論 情報処理検定問題集(2級)					
時間外 学習	授業時間内で終わらなかった点をClassroomにて質疑応用。					
	実習課題や演習問題集にて自主学習。					
成績評価 方法	授業態度10pt、章テスト20pt、検定対策模擬試験40pt、検定試験得点30pt					
	学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)1年次		授業方法	講義	講義時期	後期
授業科目	コンピュータ概論ⅡB(マネジメントと情報化)		担当者	赤嶺 和人	科目必修区分	必修
授業概要	ストラテジおよびマネジメント分野の基本的かつ普遍的な知識の習得を目的とする。 企業における経営戦略と担当業務の関連性、システム開発のライフサイクル、プロジェクトマネジメント、サービスマネジメントおよびシステム監査などの知識を学習する。					
到達目標	・サーティファイ情報処理検定2級に合格できる ・基本情報技術者試験(国家試験)の内容が理解できる ・職業人としてIT(情報技術)の基本的な知識を活用し、上位者とのコミュニケーション、業務分析と解析およびシステム化の支援を行う事ができる。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	第4章 OR・IE				10
	2	第5章 企業会計				8
	3	第6章 法務と標準化				10
	4	サーティファイ情報処理技術者試験2級1部検定対策(試験時間・解説含む)				12
	5	サーティファイ情報処理技術者試験2級2部検定対策(試験時間・解説含む)				12
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
			科目単位数	2	合計時間数	52
教科書	マネジメントと情報化 サーティファイ情報処理検定問題集(3級・2級)					
時間外 学習	授業時間内で終わらなかった点をClassroomにて質疑応用。					
	実習課題や演習問題集にて自主学習。					
成績評価 方法	出席率・授業態度20pt、単元テスト20pt、期末試験30pt、検定試験30pt 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)1年次		授業方法	講義	講義時期	後期
授業科目	コンピュータ概論ⅢB(システム開発技術)		担当者	渡具知 斉	科目必修区分	必修
授業概要	・システム開発における開発プロセスや要件定義、設計に関する知識を学ぶ。 ・ソフトウェア開発における要件定義、設計構築、テスト、受入れ支援、保守に関する知識を学ぶ。					
到達目標	・サーティファイ情報処理検定2級に合格できる ・基本情報技術者試験(国家試験)の内容が理解できる ・目的に応じてコンピュータの活用ができる					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	第4章 ユーザーインターフェース				
	2	1節 ユーザーインターフェース				3
	3	第5章 システム開発技術				
	4	1節 システム開発とは				3
	5	2節 システム開発のプロセス				3
	6	3節 システム要件定義				3
	7	4節 システム設計				3
	8	5節 ソフトウェア要件定義				3
	9	6節 ソフトウェア設計				3
	10	7節 ソフトウェア構築				3
	11	8節 統合・テスト				3
	12	9節 導入・受入れ支援と保守				3
	13	10節 ソフトウェア開発手法				3
	14	章末テスト ユーザインターフェース・システム開発技術				3
	15	サーティファイ情報処理検定2級1部対策授業				10
	16	サーティファイ情報処理検定2級2部対策授業				8
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
				科目単位数	2	合計時間数
教科書	システム開発と情報技術 情報処理検定問題集(2級)、情報処理技術者試験科目A/B模擬試験問題集					
時間外 学習	授業時間内で終わらなかった点をClassroomにて質疑応用。					
	実習課題や演習問題集にて自主学習。					
成績評価方法	授業態度10pt、章テスト40pt、検定試験得点40pt、検定対策模擬試験10pt					
	学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)1年次		授業方法	講義、演習	講義時期	後期	
授業科目	プログラム設計 I B		担当者	長嶺 博紀	科目必修区分	必修	
授業概要	プログラムによってコンピュータ処理の流れを記述できるように、基本的なデータ処理のためのアルゴリズムを学習する。						
到達目標	・流れ図の基本パターン、繰り返し処理、整数の計算、探索処理、整列処理を理解できる。 ・疑似言語に処理の流れを理解でき、トレースできる。 ・ファイル処理、文字列操作、ビット操作の処理が理解できる。						
授業計画	内 容					授業時間数	
	1	第8章 整列のアルゴリズム その他の整列方法 練習問題				6	
	2	第9章 オブジェクト指向プログラミングの基本パターン オブジェクト指向とは				2	
	3	オブジェクトとクラス オーバードーズ 継承 練習問題				2	
	4	第10章 データ構造	データ構造の概要 配列 リスト			12	
	5	スタックとキュー 木構造 練習問題				7	
	6	第11章 実践アルゴリズム	基数変換 経路選択			3	
	7	文字列探索 順位付け				3	
	8	文字列の比較 逆ポーランド記法				3	
	9	サーティファイ情報処理2級2部検定対策				16	
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
	16						
	17						
	18						
	19						
	20						
	21						
	22						
	23						
	24						
	25						
	26						
	27						
	28						
	29						
	30						
		科目単位数			2	合計時間数	54
	教科書	情報処理試験合格へのパスポート アルゴリズムとデータ構造					
時間外 学習	復習:勉強した内容をその日のうちに再度復習 ※30分程度						
成績評価 方法	出席評価点10pt、検定取得40pt、評価テスト30pt、授業態度20pt						
	学校基準により4段階評価とする						
担当詳細	教員		備考				
実務経験紹介							

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)1年次		授業方法	講義、演習		講義時期	後期
授業科目	プログラミング言語 I B (Java)		担当者	赤嶺 達也		科目必修区分	必修
授業概要	Java言語の基本文法から、オブジェクト指向プログラミングを理解し、実習では練習問題を通して基礎的なプログラミングスキルを身につける。						
到達目標	・簡単なソースコードを読むことができる。 ・基本的なプログラミングスキルが身につくので、簡易プログラムが作成できる。 ・サーティファイ主催Java言語プログラミング能力認定試験2、3級が取得できる。						
授業計画	内 容						授業時間数
	1	第4章 クラスとメソッド(前期おさらい(メソッド、メンバの復習))					2
	2	第4章 クラスとメソッド(オーバーロード、ジェネリクス)					2
	3	第5章 カプセル化(カプセル化、アクセス修飾子)					2
	4	第5章 カプセル化(コンストラクタ)					1
	5	第5章 カプセル化(パッケージ)					2
	6	第6章 クラスの継承(継承、スーパークラスとサブクラス)					2
	7	第6章 クラスの継承(オーバーライド、抽象クラスと抽象メソッド)					2
	8	第6章 クラスの継承(サブクラスからスーパークラスへのアクセス、継承と修飾子)					2
	9	第6章 クラスの継承(ポリモフィズム)					2
	10	第7章 クラス応用(インタフェース、定義と継承、クラスの継承とインターフェースの実装)					4
	11	第7章 クラス応用(内部クラス、ローカルクラスと無名クラス、ラムダ式)					4
	12	第8章 例外クラス(エラーとは、try-catch文、finally文)					4
	13	第8章 例外クラス(throw文、throwsキーワード)					2
	14	第9章 クラスライブラリ(文字列、日付、正規表現、数値操作、列挙型)					4
	15	第10章 コレクションフレームワーク(コレクションフレームワーク)					1
	16	第10章 コレクションフレームワーク(List)					3
	17	第10章 コレクションフレームワーク(Set)					3
	18	第10章 コレクションフレームワーク(Map)					3
	19	第10章 コレクションフレームワーク(コレクションとラムダ式、API)					4
	20	第11章 ファイル操作(ファイル操作の基本、入出力とストリーム、ファイルの読み書き)					3
	21	第11章 ファイル操作(効率化、文字コード指定、区切り文字ごとの読み込み)					3
	22	第12章 マルチスレッド(マルチスレッド、Threadクラス、Runnableインタフェース)					3
	23	検定対策 (Java言語2級対策、模擬試験の実施、解説)					30
	24						
	25						
	26						
	27						
	28						
	29						
	30						
				科目単位数	4	合計時間数	88
	教科書	Java実践プログラミング、Javaプログラミング能力認定試験2、3級過去問題集					
時間外学習	授業内容の復習(検定対策時は、合格点に満たさない者は放課後講座を実施)						
成績評価方法	授業態度10pt、単元テスト20pt、試験得点(模擬、本試験含む)60pt、検定試験(合格有無)10pt						
	学校基準により4段階評価とする						
担当詳細	実務家		備考				
実務経験紹介		IT業界 (システムエンジニア歴 含む) 4年					

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)1年次		授業方法	講義、演習	講義時期	後期
授業科目	セキュリティ演習		担当者	宇地原里香、中村響	科目必修区分	必修
授業概要	下期の国家試験「情報セキュリティマネジメント試験」合格に向けて試験対策を実施する。 情報セキュリティマネジメント試験対策としては、模擬問題の演習を元に各分野の専門知識・技術を身につける。 また、対策問題だけでなく、セキュリティに関する動画視聴を行い、グループワークによる意識向上を図るとともに、セキュリティマネジメント試験に関連知識についても学習する。					
到達目標	・グループワークや体験学習を通してセキュリティに関する意識向上および知識定着。 ・情報セキュリティマネジメント試験の合格。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	オリエンテーション(授業目的・カリキュラム説明など)				1
	2	講義:1章 サイバー攻撃手法				5
	3	講義:2章 暗号と認証				5
	4	講義:3章情報セキュリティ管理				4
	5	演習:ケーススタディ・グループワーク①				2
	6	講義:4章 情報セキュリティ対策				3
	7	講義:5章 情報セキュリティ製品				4
	8	講義:6章 セキュリティ関連法規				3
	9	演習:ケーススタディ・グループワーク②				2
	10	講義:7章 テクノロジ系				3
	11	講義:8章 マネジメント系				3
	12	講義:9章 ストラテジ系				3
	13	演習:ケーススタディ・グループワーク③				2
	14	演習:情報セキュリティマネジメント模擬試験(科目A)①				2
	15	講義:情報セキュリティマネジメント模擬試験解説(科目A)①				2
	16	演習:脆弱性体験学習①				2
	17	講義:序章1 科目Bトラップ対策				1
	18	演習:情報セキュリティマネジメント模擬試験(科目B)①				2
	19	講義:情報セキュリティマネジメント模擬試験解説(科目B)①				2
	20	演習:脆弱性体験学習②				2
	21	演習:情報セキュリティマネジメント模擬試験②				3
	22	講義:情報セキュリティマネジメント模擬試験解説(科目A)②				3
	23	講義:情報セキュリティマネジメント模擬試験解説(科目B)②				3
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
				科目単位数	4	合計時間数
教科書	出るところだけ！情報セキュリティマネジメント テキスト&問題集 2026年版、IPAサイト					
時間外学習	試験学習サイトの使用					
成績評価方法	授業態度20pt、課題提出状況40pt、期末テスト40pt 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)2年次		授業方法	講義・実習	講義時期	通年
授業科目	総合学習		担当者	赤嶺 達也・渡具知 斉	科目必修区分	必修
授業概要	「豊かな人間性」を育むため、学内外の様々な授業や行事を通して協調性・思いやり・気配り・積極性・感謝など自身の体験を通して身につける科目として位置付ける。					
到達目標	学生クレド(感謝、感動、思いやり・気配り、明朗、挨拶、素直、プラス思考、チャレンジ精神、永久戦力)に基づいて行動することが出来る。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	学期初め・末HR				12
	2	志学講演会				4
	3	親睦会				6
	4	ビーチパーティ				6
	5	学園祭				40
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
				科目単位数	1	合計時間数
教科書						
時間外学習	各授業・行事においての事前準備や調べ学習を指示。前後の各実施委員会活動					
成績評価方法	出席率100pt					
	学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)2年次		授業方法	講義、実習		講義時期	前期
授業科目	システム構築技術 I (LinuC 101)		担当者	渡具知 斉・大城 政邦		科目必修区分	必修
授業概要	サーバ用OSとして広く利用されている Linux を講義と演習を通して理解する。演習環境を通じて、Linux の基本構成やコマンドを学習し操作できるようになる。LinuC 101 試験の合格を目標とする。						
到達目標	1. Linux 環境のインストールができる 2. Linux コマンドを理解し操作できる 3. LinuC 101 試験に合格する						
授業計画	内 容						授業時間数
	1	オリエンテーション:学習の進め方、LinuC レベル1について					1
	2	Linux とは、コンピュータの基本					4
	3	環境構築(仮想環境)					2
	4	1章:Linux のインストールと仮想マシン・コンテナの利用					12
	5	2章:ファイルとディレクトリの操作と管理					20
	6	3章:GNU と Unix のコマンド					10
	7	4章:リポジトリとパッケージ管理					10
	8	5章:ハードウェア、ディスク、パーティション、ファイルシステム					10
	9	試験対策(問題集利用)					33
	10	LinuC 101 本試験					4
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
	16						
	17						
	18						
	19						
	20						
	21						
	22						
	23						
	24						
	25						
	26						
	27						
	28						
	29						
	30						
				科目単位数	4	合計時間数	
教科書	・Linux教科書 図解でパッとわかる LPIC/LinuC 翔泳社 ・最短突破 LinuCレベル1 バージョン10.0 合格教本[101試験, 102試験対応] 技術評論社 ・Linux教科書 LinuC レベル1 スピードマスター問題集 Version10.0対応 翔泳社						
時間外学習	演習環境を用いた復習、オンライン学習 Ping-t を用いた試験対策						
成績評価方法	授業態度10pt、課題提出30pt、模擬試験実施回数30pt、本試験結果30pt						
	学校基準により4段階評価とする						
担当詳細	教員		備考				
実務経験紹介							

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)2年次		授業方法	講義、実習	講義時期	前期
授業科目	プログラミング言語Ⅱ(OCJ-P)		担当者	赤嶺 達也	科目必修区分	必修
授業概要	Java言語の基本文法・オブジェクト指向プログラミング(クラス・インターフェース)を理解し、Oracle認定Java SE Bronze 試験合格に向けて演習を含めた学習を行う。					
到達目標	・Java言語の基本文法について説明ができる。 ・オブジェクト指向プログラミングについて説明ができる。 ・Java言語の上級者の指導のもとで開発作業を行うことができる。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	シラバス説明・Java開発環境の確認				2
	2	【教科書】第1章 Java言語の プログラムの作成				4
	3	【教科書】第2章 データの宣言と使用				6
	4	【教科書】第3章 演算子と条件文(分岐文)				5
	5	【教科書】第4章 繰り返し文と繰り返し制御文				5
	6	【教科書】第5章 オブジェクト指向コンセプト				2
	7	【教科書】第6章 クラス定義とオブジェクトの生成・使用				6
	8	【教科書】第7章 継承				4
	9	【教科書】第8章 ポリモフィズムとパッケージ				4
	10	【問題集】第1章 Java言語の プログラムの流れ				2
	11	【問題集】第2章 データ宣言と使用				3
	12	【問題集】第3章 演算子と分岐文				3
	13	【問題集】第4章 ループ文				3
	14	【問題集】第5章 オブジェクト指向の概念				2
	15	【問題集】第6章 クラス定義とオブジェクトの使用				3
	16	【問題集】第7章 継承とポリモーフィズム				3
	17	OCJP 模擬試験・解説① Bronze 模擬試験				5
	18	OCJP 模擬試験・解説② Bronze 模擬試験				5
	19	OCJP 模擬試験・解説③ Bronze 模擬試験				5
	20	OCJP 模擬試験・解説④ Bronze 模擬試験				5
	21	OCJP 本番試験				5
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
				科目単位数	4	合計時間数
教科書	【教科書】オラクル認定資格教科書 Javaプログラマ Bronze SE (試験番号1Z0-818) 【問題集】徹底攻略Java SE Bronze問題集[1Z0-818]					
時間外学習	オンライン教材(Paizaラーニング)による自主学習環境を推奨					
成績評価方法	授業態度20pt、中間試験20pt、模擬試験4回30pt、本番試験(30pt)					
	学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)2年次		授業方法	講義、演習		講義時期	前期
授業科目	開発演習Ⅰ(基礎)		担当者	宮里 彩七		科目必修区分	必修
授業概要	ウォーターフォール型のシステム開発の流れについて学習する。 詳細設計～単体テストに重きを置いた開発演習を通して、実際の開発現場で行われている下流工程の進め方を学習する。						
到達目標	1. ウォーターフォール型のシステム開発における各工程の目的、工程間の繋がりを理解する。 2. Webアプリケーションの仕組み、機能間の繋がりを理解する。 3. 統合開発環境を使ったコーディング、デバッグの方法を理解する。						
授業計画	内 容					授業時間数	
	1	授業概要と授業実施前の準備					1
	2	システム開発概要					2
	3	要件定義					4
	4	基本設計					2
	5	Webアプリケーション開発基礎					5
	6	データベース基礎					12
	7	詳細設計					2
	8	プログラム開発(概要説明、開発環境セットアップ)					11
	9	プログラム開発(WebAPIとデータベース)					17
	10	プログラム開発演習					23
	11	後続工程概要・まとめ					1
	12						
	13						
	14						
	15						
	16						
	17						
	18						
	19						
	20						
	21						
	22						
	23						
	24						
	25						
	26						
	27						
	28						
	29						
	30						
				科目単位数	4	合計時間数	80
教科書	自作プリント、スライド						
時間外 学習	授業時間内で終わらなかった実習課題や演習問題の作成を行う						
成績評価 方法	授業態度20pt、小テスト、演習課題得点80pt						
	学校基準により4段階評価とする						
担当詳細	教員		備考				
実務経験紹介							

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)2年次		授業方法	講義、演習	講義時期	前期
授業科目	Web開発演習Ⅱ(PHP)		担当者	今頭 翔太	科目必修区分	必修
授業概要	・PHPを用いたWEBアプリケーション開発を行いながら、データベースの利活用やWEBサイト構築技術の知識を深める。					
到達目標	1,PHPの基本を習得し、コードを読み解くことができる。 2,PHP・MySQLを連携した、簡単なWebアプリケーションの作成ができる。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	オリエンテーション				0.5
	2	①1章、心の準備編				0.5
	3	①2章、パソコン設定編				2
	4	①3章、プログラミング編				7
	5	①4章、データベース編				7
	6	②1章、いろいろ準備編				1
	7	②2章、スタッフ管理システムの作成				6
	8	②3章、商品管理システムの作成				5
	9	②4章、スタッフ専用ログイン認証ページの作成				3
	10	②5章、スキルアップ				3
	11	②6章、ショッピングカート機能の作成				8
	12	②7章、注文機能の作成				7
	13	作品制作・発表会				32
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
		科目単位数			4	合計時間数
教科書	①いきなりはじめるPHP入門改訂版 ②気づけばプロ並みPHP改訂版					
時間外学習	・オンライン学習教材(Paizaラーニング)					
成績評価方法	授業態度:20pt、演習課題:65pt、作品提出:15pt					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス					
令和 8 年度	学校名: 国際電子ビジネス専門学校				
学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)2年次	授業方法	講義、演習	講義時期	前期
授業科目	選択演習 I A(セキュリティ)	担当者	比嘉 周平	科目必修区分	選択
授業概要	仮想化技術(VirtualBox)を用いてハッキングラボを構築し、ParrotOSおよびnmap・Metasploit等の診断ツールを操作しながら、プラットフォームの脆弱性診断・侵入手法・権限昇格の基礎を学ぶ。実習ではCTFスタイルのVulnhub VMに対して実際の攻撃フローを体験し、Writeup作成を通じて技術の整理を行い、講義パートではセキュリティ業界の現場・職種・キャリアについても扱う。				
到達目標	・仮想化環境を構築し、ハッキングラボとして機能させることができる ・NmapやMetasploit等の診断ツールを操作し、プラットフォームの脆弱性を検出できる ・Webアプリケーションの代表的な脆弱性(XSS・SQLi等)を理解し、Burp Suite/OWASP ZAPで診断できる				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	ガイダンス・セキュリティ業界の仕事・ハッキングラボでできること ・授業概要・目標・評価方法の説明 ・セキュリティ倫理・不正アクセス禁止法(法的リスクの確認) ・セキュリティ業界の職種紹介(ペネトレーションテスター・SOCアナリスト等) ・CTF・Vulnhubとは何か／ハッキングラボで何を学ぶか			6
	2	仮想環境によるハッキングラボ構築① ・仮想化技術の概念(VMとコンテナの違い) ・VirtualBoxのインストールと基本操作 ・ParrotOS(攻撃用VM)のインポート・起動確認 ・apt update / apt upgrade によるツール最新化			6
	3	仮想環境構築②・Linux基本操作 ・ターゲットVMのダウンロードとインポート(Vulnhub) ・NATネットワーク・ホストオンリー設定とIP確認 ・Linux基本コマンド実習: curl / wget / ssh / file / 環境変数 ・ラボ動作確認: 攻撃VM→ターゲットVM間のping疎通			6
	4	情報収集の基礎と侵入の流れ ・ハッキング全体フロー解説(偵察→侵入→権限昇格→後処理) ・nmap: ポートスキャン・OS検出・オプション組み合わせ実習 ・gobuster / dirbを使ったディレクトリ探索 ・Burp Suite入門(プロキシ設定・リクエスト確認のみ)			6
	5	侵入の基礎・Metasploit・権限昇格入門 ・searchsploitの概念と使い方(概念ベース、手動確認の流れ) ・Metasploit Framework: use / set / run の基本操作 ・Linuxの権限モデル(sudo・SUID・Capability) ・LinPEAS / LinEASを使った権限昇格候補の特定方法			6
	6	第1～5回の重要概念振り返り・質疑応答 ・Writeupとは何か: 手順記録・報告書としての意義 ・良いWriteupの構成(環境・情報収集・侵入・昇格・まとめ) ・次回から始まる実習VMの事前確認と準備			6
	7	実習① Potato・前半(情報収集～初期侵入) ・VM起動・ネットワーク接続確認(nmap -sn で対象IP特定) ・ポートスキャン・サービス列挙(nmap -sV -sC) ・Webサービス調査・ディレクトリ探索(gobuster) ・脆弱性特定・初期侵入の試行(Metasploit or 手動)			6
	8	実習① Potato・後半(権限昇格～Writeup完成・発表) ・SUIDビット悪用・sudo権限設定ミスによる権限昇格 ・root取得・フラグ確認 ・Writeup作成: 手順の整理と文章化 ・班ごとに攻略手順を発表・相互フィードバック			6
	9	実習② DC-1・前半(CMS調査～CVE特定～侵入) 【注】WPScanはPotatoの実習後に事前インストール確認済みのこと ・VM起動・Drupal CMS特定(whatweb / nmap) ・DrupalのCVE調査(searchsploit概念 + Metasploit検索) ・Metasploit drupalgeddonモジュールによる初期侵入 ・シェル取得後の基本情報収集(id / uname / hostname)			6
	10	実習② DC-1・後半(権限昇格～Writeup完成・発表) ・設定ファイルからDB認証情報取得・Drupalユーザー探索 ・sudo / SUID探索による権限昇格 ・root取得・全フラグ確認 ・Writeup完成・班発表・相互フィードバック			6

	11	補足実習(習熟度別:Mr-Robot挑戦 or 復習) 【上級者向け】Mr-Robot(WordPress): ・WPScan(手動インストール済み前提)によるユーザー列挙 ・Brute force → シェル取得 → 権限昇格 → root取得 【復習組】Potato / DC-1の未解決ポイントを再挑戦	6
	12	補足実習(習熟度別:Mr-Robot挑戦 or 復習) 【上級者向け】Mr-Robot(WordPress): ・WPScan(手動インストール済み前提)によるユーザー列挙 ・Brute force → シェル取得 → 権限昇格 → root取得 【復習組】Potato / DC-1の未解決ポイントを再挑戦	6
	13	総まとめ・振り返り・サイバーセキュリティ業界の仕事 ・前期全体の振り返り(各回ハイライト・重要概念の再確認) ・最終Writeup提出(Potato または DC-1 の完成版)	6
	14		
	15		
	16		
	17		
		科目単位数	2
			合計時間数
			78
教科書	ハッキングラボの作り方-完全版-(翔泳社)		
時間外	「ハッキングラボの作り方」の各章予習・ツール操作の自習・各回配布まとめシートの復習		
学習			
成績評価方法	学校基準により4段階評価とする。 【評価方法】 出席・授業参加 50% ・出席率 20% 出席状況に応じて評価します(欠席・遅刻を考慮します) ・授業参加態度 30% 授業・演習への積極的な参加状況に応じて評価します(発言や実習への取り組みを考慮します) ・Writeup提出 50% 実習①②の攻略手順をまとめたWriteupの完成度・記述の正確さ		
担当詳細	教員	備考	講義・実習の進捗から若干のシラバスの変動の場合あり
実務経験紹介			

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)2年次	授業方法	講義、演習	講義時期	前期
授業科目	選択演習 I A(レゴロボ演習)	担当者	大城 政邦	科目必修区分	選択
授業概要	ScratchやC言語でLEGO Mindstorm EV3 (レゴロボ) をプログラミングする実習を通し、プログラムの組み方、センサーを含むハードウェアのプログラミングを理解する。開発環境をLinuxとし、Linuxの操作にも慣れることとする。				
到達目標	・ScratchとC言語でプログラムを書けるようになる ・Linuxの基本的なファイル操作ができるようになる ・各種センサーの特徴を理解し、それらを活用したEV3 (レゴロボ) を設計通りにプログラミングできるようになる ・チームでの作業を通じてチームワークを身につける				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	環境構築			6
	2	C言語基礎(擬似言語との関連付け)			6
	3	C言語基礎(プログラム作成)			12
	4	EV3組立て、Scratch基礎			6
	5	EV3プログラミング(Scratch)			6
	6	EV3プログラミング(Scratch)、センサー活用			6
	7	EV3プログラミング(Scratch)、ライントレース			12
	8	C言語環境構築、EV3プログラミング(C言語)			6
	9	EV3プログラミング(C言語)、センサー活用、ライントレース			6
	10	EV3プログラミング(C言語)、追加課題			9
	11	部品の点検、振り返り			3
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
		科目単位数		2	合計時間数
教科書	EV3 Classroom プログラミングガイド ロボットで学ぶC言語 プログラミング基礎 独自資料				
時間外学習	課題の作成と提出				
成績評価方法	授業態度30pt、課題提出70pt 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)2年次		授業方法	講義、演習	講義時期	前期
授業科目	選択演習ⅠA(Webシステム開発)		担当者	今頭 翔太	科目必修区分	選択
授業概要	・情報スペシャリスト科で学ぶ、HTML・CSS・PHP(Web開発技術)を連携し、サイト構築の体験をしながら学習をしていく。 ・PHPのフレームワーク「Laravel」、CSSのフレームワーク「Bootstrap」を使いながら本格的なwebサイト作成にチャレンジする。 ・基礎勉強から作品製作までをチームにて行う。					
到達目標	・仮想環境のDockerを利用した開発できるようになる。 ・PHPやCSSのフレームワークを利用したwebサイトの作成ができるようになる。 ・開発したwebサイトをポートフォリオとして提出できるようになる。 ・チームでの開発ができるようになる。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	オリエンテーション・自己紹介・チーム決め・授業の進め方				3
	2	HTML・CSS基礎 ※Bootstrapも使用				5
	3	PHP,MySQL基礎 dockerを利用した開発				14
	4	PHPフレームワーク「Laravel」の基礎				16
	5	作品製作・ポートフォリオの作成のやり方を学ぶ				40
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
				科目単位数	2	合計時間数
教科書	・オンデマンド動画教材「Udemy」 ・オリジナル資料					
時間外学習	・授業内では使用しない「Udemy」教材					
成績評価方法	出席率:15pt・授業態度:15pt、課題提出:30pt、作品提出:40pt					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)2年次		授業方法	講義、演習	講義時期	前期
授業科目	選択演習 I A(ヒューマンスキル)		担当者	長嶺 博紀	科目必修区分	選択
授業概要	ゲームやグループディスカッションを通し、社会人として必要なスキル(コミュニケーション能力、新アイデア創出)強化を図る。					
到達目標	・ルール内での創意工夫、斬新な発想を生み出すことができる ・グループで活動しコミュニケーション能力を最大限に発揮できる ・自身の持つアイデア、考えを他者へわかりやすく伝えることができる					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	グループディスカッション				8
	2	グループディスカッションワーク				18
	3	ディベート				5
	4	コミュニケーション力強化				10
	5	社会人としての基礎知識(政治・経済など)				5
	6	リーダー育成				11
	7	プレゼン力強化				6
	8	グループディスカッション(最終)				15
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
		科目単位数			2	合計時間数
教科書	無し					
時間外学習	授業内の各種事例を深く掘り下げる。同様事例を独自に情報収集する					
成績評価方法	出席率15pt、授業態度15pt、科目終了後の授業レポート30pt、プレゼン評価40pt 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)2年次		授業方法	講義、演習	講義時期	前期
授業科目	選択演習ⅠA(サーバ環境構築(実践))		担当者	山川　こゆき	科目必修区分	選択
授業概要	情報スペシャリスト科で学ぶ科目をサーバ構築および運用を通して体系的実践から習得する。社会で利用されているサーバ(さくらインターネット)にフロントエンドからバックエンドで活用されているサービスを導入し、サーバ構築の基礎を学ぶ。オープンソースとして実績の高いサービスの知識・技術の活用方法と構築技術を体得。また、構築手順、エラー対応、バージョンなど詳細確認、レポート提出により問題解決・報告スキルの学習成長を促し、相互レビューで自らの強み発見および改善を促す。					
到達目標	・LinuxOS Webサーバ構築手順書通り、構築できる ・汎用サーバ(さくらインターネット)を操作できる ・仮想マシンVirtualBoxのインストール、設定ができる ・LinuxOSのインストール、設定ができる ・WebサービスApacheのインストールができる ・データベースMySQLのインストール、設定ができる ・プログラミング言語PHPのインストール、設定ができる ・CMS WordPressのインストール、設定ができる ・Apache(Webサーバ)、MySQL(データベースサーバ)、PHP(プログラミング言語)、WordPress(CMS)サービス間の設定、連携、管理、運用ができる ・Webサーバの基礎的なネットワーク、セキュリティの設定、変更管理ができる ・生成AIを活用したレポート作成、プレゼンテーションができる					
授業計画	内　　　　容					授業時間数
	講義					
	1	オリエンテーション・環境設定:自己紹介、授業の進め方、サーバ概要				6
	2	仮想マシンとは:仮想化環境概要、仮想マシンのインストール・作成・設定				6
	3	Linuxとは:OS概要、OSのインストール・作成・設定・ネットワーク接続・ログイン				6
	4	調査1:ディストリビューションの検証・比較・選定				6
	5	フロントエンド構築:構築手順実演、個人演習、手順書作成(指定OS編)				6
	6	フロントエンド構築:構築手順実演、個人演習、手順書作成(選定OS編)				6
	7	調査2:サーバ、ネットワーク、各種サービス、セキュリティ、関連情報				6
	8	バックエンド構築:構築手順実演、個人演習、本番環境設定				6
	9	本番環境構築1:企画、要件定義				6
	10	本番環境構築2:基本設計				6
	11	本番環境構築3:詳細設計・プログラミング				6
	12	本番環境構築4:結合テスト・システムテスト・運用テスト				6
	13	発表1:プレゼンテーション				6
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
20						
			科目単位数	2	合計時間数	78
教科書	オリジナル資料					
時間外 学習	Udemy(参考資料)					
成績評価 方法	レポート　30pt、スピーチ　30pt、期末プレゼンテーション　20pt、成果物　20pt					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)2年次	授業方法	演習		講義時期	前期
授業科目	選択演習ⅠA(チャレンジ)	担当者	中村 響・福士 とよみ		科目必修区分	選択
授業概要	学生個々で目標を設定し、独学(動画学習等含む)で目標を達成する					
到達目標	・各自で設定した目標を達成するための手段やスケジューリングを行うことができる ・問題が起こった時の対処法、リスケジューリングができるようになる					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	オリエンテーション				1
	2	目標の設定および進捗方法の確認				77
	3	目標を進める				
	4	進捗率の確認				
	5					
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
		科目単位数		2	合計時間数	
教科書						
時間外 学習	各自目標を進める					
成績評価 方法	授業態度60pt、課題達成率40pt					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)2年次		授業方法	講義、演習	講義時期	後期	
授業科目	データベース入門 I (OSS-DB)		担当者	今頭 翔太	科目必修区分	必修	
授業概要	・PostgreSQLを使って、リレーショナルデータベース(RDBMS)の運用管理やRDBMSのデータを定義したり、操作するための標準言語であるSQLの書き方を学ぶ。 ・基本的な運用管理コマンドやバックアップ方法、データ操作文やデータ定義文、トランザクション管理の命令を実習を通じて、実践的な学習を行う。						
到達目標	1. PostgreSQLのコマンドとSQLを使えるようになる 2. OSS-DB Silver の問題が解けるようになる						
授業計画	内 容					授業時間数	
	1	オリエンテーション				1	
	2	データベースの環境構築				2	
	3	SQLによるデータベースの操作『基礎編』				3	
	4	SQLによるデータベースの操作『応用編』				6	
	5	データ型				1	
	6	データベース定義の応用				1	
	7	1章・オープンソースデータベースの一般的特徴				1	
	8	2章・データベースの基礎知識				3	
	9	3章・インストール				3	
	10	4章・標準付属ツール				5	
	11	5章・設定ファイル				6	
	12	6章・バックアップとリストア				6	
	13	7章・基本的な運用管理				4	
	14	8章・SQLとオブジェクト				8	
	15	9章・組込関数と演算子				3	
	16	10章・トランザクション				3	
	17	試験対策				20	
	18	本試験				4	
	19						
	20						
	21						
	22						
	23						
	24						
	25						
	26						
	27						
	28						
	29						
	30						
				科目単位数	4	合計時間数	80
	教科書	・オープンソースデータベース標準教科書・OSS教科書OSS-DB Silver・Web問題集Ping-t					
時間外学習	オンライン教材(Paizaラーニング)による自主学習環境を提供 Web問題集Ping-tを用いた試験対策						
成績評価方法	授業態度15pt、実習課題40pt、確認テスト15pt、本試験:30pt 学校基準により4段階評価とする						
担当詳細	教員		備考				
実務経験紹介							

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)2年次	授業方法	講義、演習	講義時期	後期
授業科目	開発演習Ⅱ(応用)	担当者	山下 修	科目必修区分	必修
授業概要	Spring Frameworkを利用したWebアプリケーション開発を学習する				
到達目標	1. Springを利用して簡単なWebアプリケーション作成できるようになる。 2. Springで採用されている概念を理解する。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	Webシステム構成とSpring開発環境			4
	2	開発環境構築			5
	3	(step00) Webアプリケーションを開発するベースとなるspring frameworkを使って、空っぽのアプリケーションを動かす。			5
	4	(step01) Webリクエストを受け取り、Webレスポンスを返すアプリケーションを動かす。MVCのControllerを導入する。(Web API、Rest)			5
	5	(step02) MVCのViewを導入する。			4
	6	(step03) MVCのModelを導入する。			4
	7	(step04) Webページからタスクを入力し、リストに追加できるようにする。(入力データの受け取り方)			5
	8	(step05) Webページからタスクを修正(更新)できるようにする。			5
	9	(step06) Webページからタスクを削除できるようにする。			5
	10	(step07) 例外ハンドラを導入する。(エラーページ)			5
	11	(step08) JDBCテンプレートを導入する。(データベース準備)			5
	12	(step09) Repositoryをメモリ版からPostgreSQL版へ変更する。(データベースを使ったタスク管理)			5
	13	(step10) 表示をリッチにするためにCSSを適用する。			5
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
		科目単位数		3	合計時間数
教科書	Spring Boot3プログラミング入門(秀和システム)、テスト(独自)、サンプルプログラムと手順書(独自)				
時間外学習	時間中に動かすことができなかったプログラムを動かすところまで作成する 時間中に理解しきれなかったことをネットで調べて理解する				
成績評価方法	授業出席5pt、参加状況25pt、課題提出30pt、テスト結果40pt 学校基準により4段階評価する				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)2年次		授業方法	講義、演習		講義時期	後期
授業科目	ネットワーク入門 I (ITN)		担当者	大城 全揮・中村 響		科目必修区分	必修
授業概要	IPアドレッシングやイーサネットの基礎を含む、インターネットや最新のコンピュータネットワークを介してユーザー、デバイス、アプリケーション、データを接続するためのアーキテクチャ、モデル、プロトコル、ネットワークを学習する。						
到達目標	・ルーティング、スイッチング、アプリケーションプロトコルについての説明が出来る。 ・ルーターの基本設定が出来る。 ・スイッチの基本設定が出来る。						
授業計画	内 容						授業時間数
	1	モジュール1:今日のネットワーク					2
	2	モジュール2:基本的なスイッチとエンドデバイスの設定					4
	3	モジュール3:プロトコルとモデル					4
	4	モジュール4:物理層					4
	5	モジュール5:記数法					4
	6	モジュール6:データリンク層					4
	7	モジュール7:イーサネットスイッチング					4
	8	モジュール8:ネットワーク層					4
	9	モジュール9:アドレス解決					4
	10	モジュール10:基本的なルータの設定					4
	11	モジュール11:IPv4アドレッシング					4
	12	モジュール12:IPv6アドレッシング					4
	13	モジュール13:ICMP					4
	14	モジュール14:トランスポート層					4
	15	モジュール15:アプリケーション層					4
	16	モジュール16:ネットワークセキュリティの基礎					4
	17	モジュール17:小規模ネットワークの構築					4
	18	期末試験					4
	19						
	20						
	21						
	22						
	23						
	24						
	25						
	26						
	27						
	28						
	29						
	30						
				科目単位数	4	合計時間数	70
	教科書	Webテキスト(Cisco academy 提供)					
時間外学習	パケットトレーサー(実習環境)を使用したラボ実習						
成績評価方法	章末試験20pt、期末試験(筆記)40pt、期末試験(実技)40pt 学校基準により4段階評価とする						
担当詳細	実務家		備考				
実務経験紹介		IT業界(システムエンジニア歴 含む)3年 Cisco Networking Academy Instructor					

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)2年次	授業方法	講義、演習	講義時期	後期
授業科目	Web開発演習Ⅲ(JS&Laravel)	担当者	赤嶺 達也・喜友名 航	科目必修区分	必修
授業概要	動画教材(Udemy)を利用してオンデマンド形式の授業を体験。 フレームワークを利用した簡単なWebアプリ構築の実習を行う。				
到達目標	1、フレームワークを使ったプログラミングが書けるようになる 2. Webアプリケーション制作を通してMVCモデルを理解する				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	導入(授業の進め方、評価方法)、Udemyアカウント登録、ブックマーク、環境確認と必要ツールのインストール作業			2
	2	Laravel入門(動画時間:19分) 131:Laravelのインストール 132:Laravelの初期設定 133:Laravelキャッシュのクリア方法 134:Laravelデータベース設定 135:Laravelデータベース接続確認 136:Laravelの概要 137:Laravelルート、ビュー 138:Laravel Artisanコマンド 課題1(Laravelのインストールを行い、画面に「Hello！！」を表示)			4
	3	Laravel入門(動画時間:23分) 139:Laravelモデル 140:Laravelマイグレーション 141:Laravel tinker 142:Laravelコントローラ 143,144:Laravel MVCモデルの記述方法 145:ヘルパ関数 146:コレクション型 課題2(動画:144の演習を実施)			4
	4	Laravel入門(動画時間:69分) 147:クエリビルダ 148:ファサード 149:起動処理DIとサービスコンテナ 150:ブレード(Blade) 151:フロントエンド 152,153:追加動画 154:Laravel-uiと認証 155,156:追加動画 課題3(動画:154の演習を実施)			2
	5	Laravel簡易Webアプリ(CRUD/RESTful)(動画時間:19分) 157:概要モデル・マイグレーション 158:マイグレーション・追加とロールバック 159:RestFulなコントローラ 課題4(演習実施後、提出)			3
	6	Laravel簡易Webアプリ(CRUD/RESTful)(動画時間:26分) 160:ルーティング(グループ・認証) 161,162:動画視聴 課題5(演習実施後、提出)			4
	7	Laravel簡易Webアプリ(CRUD/RESTful)(動画時間:6分) 163:Create新規登録 課題6(演習実施後、提出)			2
	8	Laravel簡易Webアプリ(CRUD/RESTful)(動画時間:8分) 164:StoreとRequest保存の前に 課題7(演習実施後、提出)			2
	9	Laravel簡易Webアプリ(CRUD/RESTful)(動画時間:4分) 165:Store保存 課題8(演習実施後、提出)			2

	10	Laravel簡易Webアプリ(CRUD/RESTful) (動画時間:11分) 166:DBに保存されているデータの取得 課題9(演習実施後、提出)		2		
	11	Laravel簡易Webアプリ(CRUD/RESTful) (動画時間:10分) 167:show表示画面 課題10(演習実施後、提出)		2		
	12	Laravel簡易Webアプリ(CRUD/RESTful) (動画時間:8分) 168:edit編集画面 課題11(演習実施後、提出)		2		
	13	Laravel簡易Webアプリ(CRUD/RESTful) (動画時間:3分) 169:update更新画面 課題12(演習実施後、提出)		2		
	14	Laravel簡易Webアプリ(CRUD/RESTful) (動画時間:6分) 170:destroy削除機能 課題13(演習実施後、提出)		2		
	15	Laravel簡易Webアプリ(CRUD/RESTful) (動画時間:6分) 171:サービスへの切り離し(ファットコントローラー防止) 課題14(演習実施後、提出)		2		
	16	Laravel簡易Webアプリ(CRUD/RESTful) (動画時間:11分) 172:バリデーション(フォームリクエスト) 課題15(演習実施後、提出)		2		
	17	Laravel簡易Webアプリ(CRUD/RESTful) (動画時間:8分) 173:ダミーデータ(シーダー) 課題16(演習実施後、提出)		2		
	18	Laravel簡易Webアプリ(CRUD/RESTful) (動画時間:11分) 174:ダミーデータ(Factory&Faker) 課題17(演習実施後、提出)		2		
	19	Laravel簡易Webアプリ(CRUD/RESTful) (動画時間:8分) 175:ページネーション 課題18(演習実施後、提出)		2		
	20	Laravel簡易Webアプリ(CRUD/RESTful) (動画時間:11分) 176:検索フォーム 課題19(演習実施後、提出)		2		
	21	アプリケーション作成1 PaizaのLaravel入門を視聴しながら、アプリケーション作成 演習実施後、提出		11		
	22	アプリケーション作成2 PaizaのLaravel入門を視聴しながら、アプリケーション作成 演習実施後、提出		10		
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
		科目単位数		3	合計時間数	68
	教科書	動画教材Udemy「PHPからLaravelまでサーバーサイドをとことんやってみよう」				
	時間外 学習	オンライン学習教材(Paizaラーニング)				
	成績評価 方法	授業態度20pt、実習課題提出点(提出期限内pt含む)80pt				
		学校基準により4段階評価とする				
	担当詳細	教員		備考		
	実務経験紹介					

シラバス					
令和 8	年度	学校名: 国際電子ビジネス専門学校			
学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)2年次	授業方法	講義、演習	講義時期	後期
授業科目	選択演習 I B(セキュリティ)	担当者	比嘉 周平	科目必修区分	選択
授業概要	仮想化技術(VirtualBox)を用いてハッキングラボを構築し、ParrotOSおよびnmap・Metasploit等の診断ツールを操作しながら、プラットフォームの脆弱性診断・侵入手法・権限昇格の基礎を学ぶ。実習ではCTFスタイルのVulnhub VMに対して実際の攻撃フローを体験し、Writeup作成を通じて技術の整理を行い、講義パートではセキュリティ業界の現場・職種・キャリアについても扱う。				
到達目標	・仮想化環境を構築し、ハッキングラボとして機能させることができる ・NmapやMetasploit等の診断ツールを操作し、プラットフォームの脆弱性を検出できる ・Webアプリケーションの代表的な脆弱性(XSS・SQLi等)を理解し、Burp Suite/OWASP ZAPで診断できる				
授業計画	内 容				授業時間数
1	ガイダンス・セキュリティ業界の仕事・ハッキングラボでできること ・授業概要・目標・評価方法の説明 ・セキュリティ倫理・不正アクセス禁止法(法的リスクの確認) ・セキュリティ業界の職種紹介(ペネトレーションテスター・SOCアナリスト等) ・CTF・Vulnhubとは何か／ハッキングラボで何を学ぶか				6
2	仮想環境によるハッキングラボ構築① ・仮想化技術の概念(VMとコンテナの違い) ・VirtualBoxのインストールと基本操作 ・ParrotOS(攻撃用VM)のインポート・起動確認 ・apt update / apt upgrade によるツール最新化				6
3	仮想環境構築②・Linux基本操作 ・ターゲットVMのダウンロードとインポート(Vulnhub) ・NATネットワーク・ホストオンリー設定とIP確認 ・Linux基本コマンド実習: curl / wget / ssh / file / 環境変数 ・ラボ動作確認: 攻撃VM→ターゲットVM間のping疎通				6
4	情報収集の基礎と侵入の流れ ・ハッキング全体フロー解説(偵察→侵入→権限昇格→後処理) ・nmap: ポートスキャン・OS検出・オプション組み合わせ実習 ・gobuster / dirbを使ったディレクトリ探索 ・Burp Suite入門(プロキシ設定・リクエスト確認のみ)				6
5	侵入の基礎・Metasploit・権限昇格入門 ・searchsploitの概念と使い方(概念ベース、手動確認の流れ) ・Metasploit Framework: use / set / run の基本操作 ・Linuxの権限モデル(sudo・SUID・Capability) ・LinPEAS / LinEASを使った権限昇格候補の特定方法				6
6	第1～5回の重要概念振り返り・質疑応答 ・Writeupとは何か: 手順記録・報告書としての意義 ・良いWriteupの構成(環境・情報収集・侵入・昇格・まとめ) ・次回から始まる実習VMの事前確認と準備				6
7	実習① Potato・前半(情報収集～初期侵入) ・VM起動・ネットワーク接続確認(nmap -sn で対象IP特定) ・ポートスキャン・サービス列挙(nmap -sV -sC) ・Webサービス調査・ディレクトリ探索(gobuster) ・脆弱性特定・初期侵入の試行(Metasploit or 手動)				6

	8	実習① Potato・後半(権限昇格～Writeup完成・発表) ・SUIDビット悪用・sudo権限設定ミスによる権限昇格 ・root取得・フラグ確認 ・Writeup作成:手順の整理と文章化 ・班ごとに攻略手順を発表・相互フィードバック			6
	9	実習② DC-1・前半(CMS調査～CVE特定～侵入) 【注】WPScanはPotatoの実習後に事前インストール確認済みのこと ・VM起動・Drupal CMS特定(whatweb / nmap) ・DrupalのCVE調査(searchsploit概念 + Metasploit検索) ・Metasploit drupalgeddonモジュールによる初期侵入 ・シェル取得後の基本情報収集(id / uname / hostname)			6
	10	実習② DC-1・後半(権限昇格～Writeup完成・発表) ・設定ファイルからDB認証情報取得・Drupalユーザー探索 ・sudo / SUID探索による権限昇格 ・root取得・全フラグ確認 ・Writeup完成・班発表・相互フィードバック			6
	11	補足実習(習熟度別:Mr-Robot挑戦 or 復習) 【上級者向け】Mr-Robot(WordPress): ・WPScan(手動インストール済み前提)によるユーザー列挙 ・Brute force → シェル取得 → 権限昇格 → root取得 【復習組】Potato / DC-1の未解決ポイントを再挑戦			6
	12	補足実習(習熟度別:Mr-Robot挑戦 or 復習) 【上級者向け】Mr-Robot(WordPress): ・WPScan(手動インストール済み前提)によるユーザー列挙 ・Brute force → シェル取得 → 権限昇格 → root取得 【復習組】Potato / DC-1の未解決ポイントを再挑戦			6
	13	総まとめ・振り返り・サイバーセキュリティ業界の仕事 ・前期全体の振り返り(各回ハイライト・重要概念の再確認) ・最終Writeup提出(Potato または DC-1 の完成版)			6
	14				
	15				
	16				
17					
		科目単位数	2	合計時間数	78
教科書	ハッキングラボの作り方-完全版-(翔泳社)				
時間外	「ハッキングラボの作り方」の各章予習・ツール操作の自習・各回配布まとめシートの復習				
学習					
成績評価方法	学校基準により4段階評価とする。 【評価方法】 出席・授業参加 50% ・出席率 20% 出席状況に応じて評価します(欠席・遅刻を考慮します) ・授業参加態度 30% 授業・演習への積極的な参加状況に応じて評価します(発言や実習への取り組みを考慮します) ・Writeup提出 50% 実習①②の攻略手順をまとめたWriteupの完成度・記述の正確さ				
担当詳細	教員	備考	講義・実習の進捗から若干のシラバスの変動の場合あり		
実務経験紹介					

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)2年次	授業方法	講義、演習	講義時期	後期
授業科目	選択演習 I B(レゴロボ演習)	担当者	大城 政邦	科目必修区分	選択
授業概要	ScratchやC言語でLEGO Mindstorm EV3 (レゴロボ)をプログラミングする実習を通し、プログラムの組み方、センサーを含むハードウェアのプログラミングを理解する。開発環境をLinuxとし、Linuxの操作にも慣れることとする。				
到達目標	・ScratchとC言語でプログラムを書けるようになる ・Linuxの基本的なファイル操作ができるようになる ・各種センサーの特徴を理解し、それらを活用したEV3 (レゴロボ)を設計通りにプログラミングできるようになる ・チームでの作業を通じてチームワークを身につける				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	環境構築			6
	2	C言語基礎(擬似言語との関連付け)			6
	3	C言語基礎(プログラム作成)			12
	4	EV3組立て、Scratch基礎			6
	5	EV3プログラミング(Scratch)			6
	6	EV3プログラミング(Scratch)、センサー活用			6
	7	EV3プログラミング(Scratch)、ライントレース			12
	8	C言語環境構築、EV3プログラミング(C言語)			6
	9	EV3プログラミング(C言語)、センサー活用、ライントレース			6
	10	EV3プログラミング(C言語)、追加課題			9
	11	部品の点検、振り返り			3
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
		科目単位数		2	合計時間数
教科書	EV3 Classroom プログラミングガイド ロボットで学ぶC言語 プログラミング基礎 独自資料				
時間外学習	課題の作成と提出				
成績評価方法	授業態度30pt、課題提出70pt 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)2年次		授業方法	講義、演習	講義時期	後期
授業科目	選択演習 I B(Webシステム開発)		担当者	今頭 翔太	科目必修区分	選択
授業概要	・情報スペシャリスト科で学ぶ、HTML・CSS・PHP(WEB開発技術)を連携し、サイト構築の体験をしながら学習をしていく。 ・PHPのフレームワーク「Laravel」、CSSのフレームワーク「Bootstrap」を使いながら本格的なwebサイト作成にチャレンジする。 ・基礎勉強から作品製作までをチームにて行う。					
到達目標	・仮想環境のDockerを利用した開発できるようになる。 ・PHPやCSSのフレームワークを利用したwebサイトの作成ができるようになる。 ・開発したwebサイトをポートフォリオとして提出できるようになる。 ・チームでの開発ができるようになる。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	オリエンテーション・自己紹介・チーム決め・授業の進め方				3
	2	HTML・CSS基礎 ※Bootstrapも使用				5
	3	PHP,MySQL基礎 dockerを利用した開発				14
	4	PHPフレームワーク「Laravel」の基礎				16
	5	作品製作・ポートフォリオの作成				40
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
				科目単位数	2	合計時間数
教科書	・オンデマンド動画教材「Udemy」 ・オリジナル資料					
時間外学習	・授業内では使用しない「Udemy」教材					
成績評価方法	出席率:15pt・授業態度:15pt、課題提出:30pt、作品提出:40pt					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)2年次		授業方法	講義、演習	講義時期	後期
授業科目	選択実習 I B(ヒューマンスキル)		担当者	長嶺 博紀	科目必修区分	選択
授業概要	ゲームやグループディスカッションを通し、社会人として必要なスキル(コミュニケーション能力、新アイデア創出)強化を図る。					
到達目標	・ルール内での創意工夫、斬新な発想を生み出すことができる ・グループで活動しコミュニケーション能力を最大限に発揮できる ・自身の持つアイデア、考えを他者へわかりやすく伝えることができる					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	グループディスカッション				8
	2	グループディスカッションワーク				18
	3	ディベート				5
	4	コミュニケーション力強化				10
	5	社会人としての基礎知識(政治・経済など)				5
	6	リーダー育成				11
	7	プレゼン力強化				6
	8	グループディスカッション(最終)				15
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
		科目単位数			2	合計時間数
教科書	無し					
時間外学習	授業内の各種事例を深く掘り下げる。同様事例を独自に情報収集する					
成績評価方法	出席率15pt、授業態度15pt、科目終了後の授業レポート30pt、プレゼン評価40pt 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)2年次		授業方法	講義、演習	講義時期	後期
授業科目	選択実習ⅠB(サーバ環境構築(実践))		担当者	山川　こゆき	科目必修区分	選択
授業概要	情報スペシャリスト科で学ぶ科目をサーバ構築および運用を通して体系的実践から習得する。社会で利用されているサーバ(さくらインターネット)にフロントエンドからバックエンドで活用されているサービスを導入し、サーバ構築の基礎を学ぶ。オープンソースとして実績の高いサービスの知識・技術の活用方法と構築技術を体得。また、構築手順、エラー対応、バージョンなど詳細確認、レポート提出により問題解決・報告スキルの学習成長を促し、相互レビューで自らの強み発見および改善を促す。					
到達目標	・LinuxOS Webサーバ構築手順書通り、構築できる ・汎用サーバ(さくらインターネット)を操作できる ・仮想マシンVirtualBoxのインストール、設定ができる ・LinuxOSのインストール、設定ができる ・WebサービスApacheのインストールができる ・データベースMySQLのインストール、設定ができる ・プログラミング言語PHPのインストール、設定ができる ・CMS WordPressのインストール、設定ができる ・Apache(Webサーバ)、MySQL(データベースサーバ)、PHP(プログラミング言語)、WordPress(CMS) サービス間の設定、連携、管理、運用ができる ・Webサーバの基礎的なネットワーク、セキュリティの設定、変更管理ができる ・生成AIを活用したレポート作成、プレゼンテーションができる					
授業計画	内　　　　容					授業時間数
	講義					
	1	オリエンテーション・環境設定: 自己紹介、授業の進め方、サーバ概要				6
	2	仮想マシンとは: 仮想化環境概要、仮想マシンのインストール・作成・設定				6
	3	Linuxとは: OS概要、OSのインストール・作成・設定・ネットワーク接続・ログイン				6
	4	調査1: ディストリビューションの検証・比較・選定				6
	5	フロントエンド構築: 構築手順実演、個人演習、手順書作成(指定OS編)				6
	6	フロントエンド構築: 構築手順実演、個人演習、手順書作成(選定OS編)				6
	7	調査2: サーバ、ネットワーク、各種サービス、セキュリティ、関連情報				6
	8	バックエンド構築: 構築手順実演、個人演習、本番環境設定				6
	9	本番環境構築1: 企画、要件定義				6
	10	本番環境構築2: 基本設計				4
	11	本番環境構築3: 詳細設計・プログラミング				6
	12	本番環境構築4: 結合テスト・システムテスト・運用テスト				6
	13	発表1: プレゼンテーション				6
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
20						
			科目単位数	2	合計時間数	76
教科書	オリジナル資料					
時間外 学習	Udemy(参考資料)					
成績評価 方法	レポート　30pt、スピーチ　30pt、期末プレゼンテーション　20pt、成果物　20pt					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)2年次	授業方法	演習		講義時期	後期
授業科目	選択演習ⅠB(チャレンジ)	担当者	中村 響・福士 とよみ		科目必修区分	選択
授業概要	学生個々で目標を設定し、独学(動画学習等含む)で目標を達成する					
到達目標	・各自で設定した目標を達成するための手段やスケジューリングを行うことができる ・問題が起こった時の対処法、リスケジューリングができるようになる					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	オリエンテーション				1
	2	目標の設定および進捗方法の確認				77
	3	目標を進める				
	4	進捗率の確認				
	5					
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
			科目単位数		2	合計時間数
教科書						
時間外 学習	各自目標を進める					
成績評価 方法	授業態度60pt、課題達成率40pt					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)3年次		授業方法	講義・実習	講義時期	通年
授業科目	総合学習		担当者	山川 こゆき・喜友名 航	科目必修区分	必修
授業概要	「豊かな人間性」を育むため、学内外の様々な授業や行事を通して協調性・思いやり・気配り・積極性・感謝など自身の体験を通して身につける科目として位置付ける。					
到達目標	学生クレド(感謝、感動、思いやり・気配り、明朗、挨拶、素直、プラス思考、チャレンジ精神、永久戦力)に基づいて行動することが出来る。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	学期初め・末HR				12
	2	志学講演会				4
	3	親睦会				6
	4	東京研修				18
	5	ビーチパーティ				6
	6	リゾテック参加				4
	7	学園祭				40
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
				科目単位数	2	合計時間数
教科書						
時間外学習	各授業・行事においての事前準備や調べ学習を指示。前後の各実施委員会活動					
成績評価方法	出席率100pt					
	学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)3年次		授業方法	講義、演習	講義時期	通年
授業科目	セキュリティ入門 I (Security+)		担当者	福士 とよみ・喜友名 航	科目必修区分	必修
授業概要	CompTIA Security+認定資格のカリキュラムを通じ、情報セキュリティの脅威や攻撃、脆弱性の内容だけでなく、セキュリティアーキテクチャや設計・実装、運用やインシデントレスポンスまで学んでいく。授業は、Udemyの”CompTIA Security+ SY0-701 Full Training Guide”の内容を、教員による各セクションの概要説明や小テスト・練習問題で学修していく。					
到達目標	1.「情報セキュリティ」の概念についての説明ができる。 2. ComTIA Securiry+ の試験に合格する。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	シラバス説明(授業目的・年間スケジュール・取得目標検定説明)				1
	2	パート1 -基本的なセキュリティ概念				3
	3	パート2 -脅威アクターと脅威ベクトル				3
	4	パート3 -暗号ソリューション				4
	5	パート4 -ID とアクセス管理の実装				4
	6	パート5 -安全な企業ネットワークアーキテクチャ				5
	7	パート6 -安全なクラウドネットワーク アーキテクチャ				5
	8	パート7 -回復力とサイトセキュリティの概念				6
	9	パート8 -脆弱性管理について				5
	10	振り返り (パート1～8)				1
	11	中間試験 6月中旬				1
	12	パート9 -ネットワークセキュリティ機能の評価				4
	13	パート10 -エンドポイントのセキュリティ機能の評価				3
	14	パート11 -アプリケーションのセキュリティ機能の強化				4
	15	パート12 -インシデント対応とモニタリングの概念				4
	16	パート13 -悪意のある活動の指標を分析する				5
	17	パート14 -セキュリティ ガバナンスの概念				4
	18	パート15 -リスク管理について				5
	19	パート16 -データ保護とコンプライアンスの概念				5
	20	振り返り (パート9～16)				1
	21	期末試験 8月末				1
	22	試験対策、CompTIA Security+ 試験受験 (10月)				28
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
				科目単位数	4	合計時間数
教科書	【動画教材】CompTIA Security+ SY0-701 Full Training Guide オリジナル教材					
時間外 学習	授業時間内で終わらなかった小テスト問題や練習問題・中間試験、期末試験に向けた勉強					
	CompTIA Security+ 試験合格に向けた勉強					
成績評価 方法	前期(授業態度20pt、課題提出20pt、中間試験 30pt、期末試験30pt) 後期(授業態度20pt、模擬試験20pt×2回分、本番試験40pt) 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)3年次		授業方法	講義、演習	講義時期	前期	
授業科目	システム構築技術Ⅱ(LinuxC102)		担当者	山川　こゆき、中村　響	科目必修区分	必修	
授業概要	システム構築において、オンプレミス環境だけでなく、クラウド環境やオープンテクノロジーのLinux技術者としてLinuxサーバ構築・運用・管理、クラウドの安全な運用、オープンソース文化の理解と業務への活用を目指し、実践的スキルを習得する。						
到達目標	・シェル環境のカスタマイズ、シェルスクリプトの活用ができる。 ・ネットワークの基本設定、構成、問題解決、クライアント側のDNS設定ができる。 ・アカウント管理、ジョブスケジューリング、国際化対応プログラム活用ができる。 ・システム時刻管理、システムログ管理、メール配送の基本設定ができる。 ・セキュリティ基本操作、ホストのセキュリティ設定、暗号化技術、クラウドセキュリティの基本設定ができる。 ・オープンソースウェアの概念とライセンスを説明できる。 ・LPI-Japan認定　Linuxレベル1-102試験を受験(取得)する。						
授業計画	内　　　　容					授業時間数	
	1	オリエンテーション:Linuxレベル1-102の試験概要				2	
	2	序章:環境再設定、Linuxレベル1-101の復習(振り返り)				4	
	3	第6章:シェルとシェルスクリプト(講義と実践)				10	
	4	Web演習問題「Ping-t」・問題演習「スピードマスター」実施と解説:第6章				3	
	5	第7章:ネットワークの基礎(講義と実践)				10	
	6	Web演習問題「Ping-t」・問題演習「スピードマスター」実施と解説:第7章				3	
	7	第8章:システム管理(講義と実践)				10	
	8	Web演習問題「Ping-t」・問題演習「スピードマスター」実施と解説:第8章				3	
	9	第9章:システムサービス(講義と実践)				8	
	10	Web演習問題「Ping-t」・問題演習「スピードマスター」実施と解説:第9章				3	
	11	第10章:セキュリティ(講義と実践)				8	
	12	Web演習問題「Ping-t」・問題演習「スピードマスター」実施と解説:第10章				5	
	13	第11章:オープンソース文化(講義と実践)				4	
	14	Web演習問題「Ping-t」・問題演習「スピードマスター」実施と解説:第11章				1	
	15	模擬試験:第1回～第3回　実施と解説				10	
	16	本試験;実施				2	
	17						
	18						
	19						
	20						
	21						
	22						
	23						
	24						
	25						
	26						
	27						
	28						
	29						
	30						
				科目単位数	4	合計時間数	86
	教科書	Linuxレベル1　バージョン10.0　合格教本[101試験、102試験対応]改訂新版(技術評論社)					
Linux教科書「図解でパッとわかる LPIC/Linux」一部(翔泳社)							
時間外 学習	Linuxレベル1　スピードマスター問題集[101試験、102試験]Ver.10.0対応(翔泳社)						
	IT試験学習サイト「Ping-t」(Webサイト)						
	【任意】「Linux レベル1101 + 102試験対策講座」(Udemy:オンデマンド)						
成績評価 方法	単元課題 40pt、授業態度 20pt、模擬試験20pt、本試験 20pt						
担当詳細	教員		備考				
実務経験紹介							

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)3年次		授業方法	講義、演習	講義時期	前期	
授業科目	ネットワーク入門Ⅱ(SRWE)		担当者	大城 全揮	科目必修区分	必修	
授業概要	中小企業のネットワークをサポートするスイッチング テクノロジーとルーターの操作ワイヤレスローカルエリアネットワーク (WLAN) とセキュリティの概念について学習する。						
到達目標	・デバイス(ルータ、スイッチ)の基本的な設定ができる。 ・スイッチのセキュリティ設定ができる。 ・LANとWANの違いが説明できる。						
授業計画	内 容					授業時間数	
	1	モジュール1:基本的なデバイスの設定				5	
	2	モジュール2:スイッチングの概念				3	
	3	モジュール3:VLAN				4	
	4	モジュール4:VLAN間ルーティング				5	
	5	モジュール5:STPの概念				5	
	6	モジュール6:EtherChannel				5	
	7	モジュール7:DHCPv4				5	
	8	モジュール8:SLAACおよびDHCPv6				5	
	9	モジュール9:FHRPの概念				5	
	10	モジュール10:LANセキュリティの概念				5	
	11	モジュール11:スイッチのセキュリティ設定				5	
	12	モジュール12:WLANの概念				5	
	13	モジュール13:WLANの設定				5	
	14	モジュール14:ルーティングの概念				5	
	15	モジュール15:IPスタティックルーティング				5	
	16	モジュール16:スタティックルーティングとデフォルトルートのトラブルシューティング				5	
	17	期末試験(筆記・実技)				5	
	18						
	19						
	20						
	21						
	22						
	23						
	24						
	25						
	26						
	27						
	28						
	29						
	30						
				科目単位数	4	合計時間数	82
	教科書	Webテキスト(Cisco academy 提供)					
時間外学習	パケットトレーサ(実習環境)を使用したラボ実習						
成績評価方法	章末試験20pt、期末試験(筆記)30pt、期末試験(実技)50pt 学校基準により4段階評価とする						
担当詳細	実務家		備考				
実務経験紹介		IT業界(システムエンジニア歴 含む)3年 Cisco Networking Academy Instructor					

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)3年次		授業方法	講義、実習	講義時期	前期	
授業科目	ログ分析演習 I A(Splunk)		担当者	喜友名 航・中村 響	科目必修区分	必修	
授業概要	Splunkによる様々なデータの取り込み、簡単なデータ検索とグラフによる可視化など基本操作を学習する。						
到達目標	・Splunkの環境構築ができる。 ・Splunkの基本操作(データ取り込み、検索、可視化)ができる。 ・Splunkに対して拡張機能を導入し利用することができる。						
授業計画	内 容					授業時間数	
	1	ガイダンス、シラバス・コマ配分説明、Splunk紹介				2	
	2	実習環境構築/User登録				5	
	3	Splunkの動画学習(Intro to Splunk、Visualizations)				3	
	4	BASICハンズオン1 データ登録、サーチ基礎 (Splunk社 資料利用)				4	
	5	BASICハンズオン2				4	
	6	BASICハンズオン3				4	
	7	SSHハンズオン/SPLの基本				5	
	8	Search Tutorial 1 (Splunk社 資料利用)				4	
	9	Search Tutorial 2 (Splunk社 資料利用)				4	
	10	Search Tutorial 3 (Splunk社 資料利用)				4	
	11	環境再構築(ライセンス更新/MBSD実習環境事前構築/e-Learnig)				3	
	12	MBSD社授業前 環境事前構築/e-Learning				2	
	13	MBSD社授業				12	
	14	前期授業振り返り (MBSD授業ハンズオン)				2	
	15	中間発表:準備期間				10	
	16	中間発表				6	
	17						
	18						
	19						
	20						
	21						
	22						
	23						
	24						
	25						
	26						
	27						
	28						
	29						
	30						
				科目単位数	4	合計時間数	74
	教科書	・e-Learning教材、自作教材					
時間外 学習	Splunk Core Certified User受験に向けた学習						
	成果物作成に向けた学習						
成績評価 方法	出席・授業態度 20pt、レポート課題提出(動画、特別授業) 30pt、授業課題提出 20pt、発表点 30pt						
	学校基準により4段階評価とする						
担当詳細	教員		備考				
実務経験紹介							

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)3年次		授業方法	講義、演習	講義時期	前期
授業科目	キャリアデザインⅡA		担当者	赤羽 利夫	科目必修区分	必修
授業概要	社会人にとって基本的な素養を知り、基礎スキルの一部について学習・演習する					
到達目標	・就職活動に必要なことを学び、社会でも役立つことを理解する ・ワークを通し、就職活動に必要なスキルの基礎を習得できる					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	1. 導入、良い習慣を身につける				1
	2	2. 就活の軸				1
	3	3. 自己理解				2
	4	4. コミュニケーション力を高める				2
	5	5. スケジュール管理と情報の利活用				2
	6	6. ビジネスメール、履歴書について				2
	7	7. 就活対策準備				10
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
				科目単位数	1	合計時間数
教科書	KBC学園 就職活動の進め方					
時間外 学習						
成績評価 方法	授業態度30pt 取り組み姿勢40p 提出物30pt					
	学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス					
令和 8 年度	学校名: 国際電子ビジネス専門学校				
学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)3年次	授業方法	講義、演習	講義時期	前期
授業科目	選択演習ⅡA(セキュリティ)	担当者	比嘉 周平	科目必修区分	選択
授業概要	仮想化技術(VirtualBox)を用いてハッキングラボを構築し、ParrotOSおよびnmap・Metasploit等の診断ツールを操作しながら、プラットフォームの脆弱性診断・侵入手法・権限昇格の基礎を学ぶ。実習ではCTFスタイルのVulnhub VMに対して実際の攻撃フローを体験し、Writeup作成を通じて技術の整理を行い、講義パートではセキュリティ業界の現場・職種・キャリアについても扱う。				
到達目標	・仮想化環境を構築し、ハッキングラボとして機能させることができる ・NmapやMetasploit等の診断ツールを操作し、プラットフォームの脆弱性を検出できる ・Webアプリケーションの代表的な脆弱性(XSS・SQLi等)を理解し、Burp Suite/OWASP ZAPで診断できる				
授業計画	内 容				授業時間数
1	ガイダンス・セキュリティ業界の仕事・ハッキングラボでできること ・授業概要・目標・評価方法の説明 ・セキュリティ倫理・不正アクセス禁止法(法的リスクの確認) ・セキュリティ業界の職種紹介(ペネトレーションテスター・SOCアナリスト等) ・CTF・Vulnhubとは何か／ハッキングラボで何を学ぶか				6
2	仮想環境によるハッキングラボ構築① ・仮想化技術の概念(VMとコンテナの違い) ・VirtualBoxのインストールと基本操作 ・ParrotOS(攻撃用VM)のインポート・起動確認 ・apt update / apt upgrade によるツール最新化				6
3	仮想環境構築②・Linux基本操作 ・ターゲットVMのダウンロードとインポート(Vulnhub) ・NATネットワーク・ホストオンリー設定とIP確認 ・Linux基本コマンド実習: curl / wget / ssh / file / 環境変数 ・ラボ動作確認: 攻撃VM→ターゲットVM間のping疎通				6
4	情報収集の基礎と侵入の流れ ・ハッキング全体フロー解説(偵察→侵入→権限昇格→後処理) ・nmap: ポートスキャン・OS検出・オプション組み合わせ実習 ・gobuster / dirbを使ったディレクトリ探索 ・Burp Suite入門(プロキシ設定・リクエスト確認のみ)				6
5	侵入の基礎・Metasploit・権限昇格入門 ・searchsploitの概念と使い方(概念ベース、手動確認の流れ) ・Metasploit Framework: use / set / run の基本操作 ・Linuxの権限モデル(sudo・SUID・Capability) ・LinPEAS / LinEASを使った権限昇格候補の特定方法				6
6	第1～5回の重要概念振り返り・質疑応答 ・Writeupとは何か: 手順記録・報告書としての意義 ・良いWriteupの構成(環境・情報収集・侵入・昇格・まとめ) ・次回から始まる実習VMの事前確認と準備				6
7	実習① Potato・前半(情報収集～初期侵入) ・VM起動・ネットワーク接続確認(nmap -sn で対象IP特定) ・ポートスキャン・サービス列挙(nmap -sV -sC) ・Webサービス調査・ディレクトリ探索(gobuster) ・脆弱性特定・初期侵入の試行(Metasploit or 手動)				6

	8	実習① Potato・後半(権限昇格～Writeup完成・発表) ・SUIDビット悪用・sudo権限設定ミスによる権限昇格 ・root取得・フラグ確認 ・Writeup作成:手順の整理と文章化 ・班ごとに攻略手順を発表・相互フィードバック	6
	9	実習② DC-1・前半(CMS調査～CVE特定～侵入) 【注】 WPScanはPotatoの実習後に事前インストール確認済みのこと ・VM起動・Drupal CMS特定(whatweb / nmap) ・DrupalのCVE調査(searchsploit概念 + Metasploit検索) ・Metasploit drupalgeddonモジュールによる初期侵入 ・シェル取得後の基本情報収集(id / uname / hostname)	6
	10	実習② DC-1・後半(権限昇格～Writeup完成・発表) ・設定ファイルからDB認証情報取得・Drupalユーザー探索 ・sudo / SUID探索による権限昇格 ・root取得・全フラグ確認 ・Writeup完成・班発表・相互フィードバック	6
	11	補足実習(習熟度別:Mr-Robot挑戦 or 復習) 【上級者向け】 Mr-Robot(WordPress): ・WPScan(手動インストール済み前提)によるユーザー列挙 ・Brute force → シェル取得 → 権限昇格 → root取得 【復習組】 Potato / DC-1の未解決ポイントを再挑戦	6
	12	補足実習(習熟度別:Mr-Robot挑戦 or 復習) 【上級者向け】 Mr-Robot(WordPress): ・WPScan(手動インストール済み前提)によるユーザー列挙 ・Brute force → シェル取得 → 権限昇格 → root取得 【復習組】 Potato / DC-1の未解決ポイントを再挑戦	6
	13	総まとめ・振り返り・サイバーセキュリティ業界の仕事 ・前期全体の振り返り(各回ハイライト・重要概念の再確認) ・最終Writeup提出(Potato または DC-1 の完成版)	6
	14		
	15		
	16		
	17		
		科目単位数	2
			合計時間数
			78
教科書	ハッキングラボの作り方-完全版-(翔泳社)		
時間外	「ハッキングラボの作り方」の各章予習・ツール操作の自習・各回配布まとめシートの復習		
学習			
成績評価方法	学校基準により4段階評価とする。 【評価方法】 出席・授業参加 50% ・出席率 20% 出席状況に応じて評価します(欠席・遅刻を考慮します) ・授業参加態度 30% 授業・演習への積極的な参加状況に応じて評価します(発言や実習への取り組みを考慮します) ・Writeup提出 50% 実習①②の攻略手順をまとめたWriteupの完成度・記述の正確さ		
担当詳細	教員	備考	講義・実習の進捗から若干のシラバスの変動の場合あり
実務経験紹介			

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)3年次	授業方法	講義、演習	講義時期	前期
授業科目	選択演習ⅡA(レゴロボ演習)	担当者	大城 政邦	科目必修区分	選択
授業概要	ScratchやC言語でLEGO Mindstorm EV3(レゴロボ)をプログラミングする実習を通し、プログラムの組み方、センサーを含むハードウェアのプログラミングを理解する。開発環境をLinuxとし、Linuxの操作にも慣れることとする。				
到達目標	・ScratchとC言語でプログラムを書けるようになる ・Linuxの基本的なファイル操作ができるようになる ・各種センサーの特徴を理解し、それらを活用したEV3(レゴロボ)を設計通りにプログラミングできるようになる ・チームでの作業を通じてチームワークを身につける				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	環境構築			6
	2	C言語基礎(擬似言語との関連付け)			6
	3	C言語基礎(プログラム作成)			12
	4	EV3組立て、Scratch基礎			6
	5	EV3プログラミング(Scratch)			6
	6	EV3プログラミング(Scratch)、センサー活用			6
	7	EV3プログラミング(Scratch)、ライントレース			12
	8	C言語環境構築、EV3プログラミング(C言語)			6
	9	EV3プログラミング(C言語)、センサー活用、ライントレース			6
	10	EV3プログラミング(C言語)、追加課題			9
	11	部品の点検、振り返り			3
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
		科目単位数		2	合計時間数
教科書	EV3 Classroom プログラミングガイド ロボットで学ぶC言語 プログラミング基礎 独自資料				
時間外学習	課題の作成と提出				
成績評価方法	授業態度30pt、課題提出70pt 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)3年次		授業方法	講義、演習	講義時期	前期
授業科目	選択演習ⅡA(webシステム開発)		担当者	今頭 翔太	科目必修区分	選択
授業概要	・情報スペシャリスト科で学ぶ、HTML・CSS・PHP(WEB開発技術)を連携し、サイト構築の体験をしながら学習をしていく。 ・PHPのフレームワーク「Laravel」、CSSのフレームワーク「Bootstrap」を使いながら本格的なwebサイト作成にチャレンジする。 ・基礎勉強から作品製作までをチームにて行う。					
到達目標	・仮想環境のDockerを利用した開発できるようになる。 ・PHPやCSSのフレームワークを利用したwebサイトの作成ができるようになる。 ・開発したwebサイトをポートフォリオとして提出できるようになる。 ・チームでの開発ができるようになる。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	オリエンテーション・自己紹介・チーム決め・授業の進め方				3
	2	HTML・CSS基礎 ※Bootstrapも使用				5
	3	PHP,MySQL基礎 dockerを利用した開発				14
	4	PHPフレームワーク「Laravel」の基礎				16
	5	作品製作・ポートフォリオの作成のやり方を学ぶ				40
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
				科目単位数	2	合計時間数
教科書	・オンデマンド動画教材「Udemy」 ・オリジナル資料					
時間外学習	・授業内では使用しない「Udemy」教材					
成績評価方法	出席率:15pt・授業態度:15pt、課題提出:30pt、作品提出:40pt					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)3年次		授業方法	講義、演習	講義時期	前期
授業科目	選択演習ⅡA(ヒューマンスキル)		担当者	長嶺 博紀	科目必修区分	選択
授業概要	ゲームやグループディスカッションを通し、社会人として必要なスキル(コミュニケーション能力、新アイデア創出)強化を図る。					
到達目標	・ルール内での創意工夫、斬新な発想を生み出すことができる ・グループで活動しコミュニケーション能力を最大限に発揮できる ・自身の持つアイデア、考えを他者へわかりやすく伝えることができる					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	グループディスカッション				8
	2	グループディスカッションワーク				18
	3	ディベート				5
	4	コミュニケーション力強化				10
	5	社会人としての基礎知識(政治・経済など)				5
	6	リーダー育成				11
	7	プレゼン力強化				6
	8	グループディスカッション(最終)				15
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
				科目単位数	2	合計時間数
教科書	無し					
時間外学習	授業内の各種事例を深く掘り下げる。同様事例を独自に情報収集する					
成績評価方法	出席率15pt、授業態度15pt、科目終了後の授業レポート30pt、プレゼン評価40pt 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)3年次		授業方法	講義、演習	講義時期	前期
授業科目	選択演習ⅡA(サーバ環境構築(実践))		担当者	山川　こゆき	科目必修区分	選択
授業概要	情報スペシャリスト科で学ぶ科目をサーバ構築および運用を通して体系的実践から習得する。社会で利用されているサーバ(さくらインターネット)にフロントエンドからバックエンドで活用されているサービスを導入し、サーバ構築の基礎を学ぶ。オープンソースとして実績の高いサービスの知識・技術の活用方法と構築技術を体得。また、構築手順、エラー対応、バージョンなど詳細確認、レポート提出により問題解決・報告スキルの学習成長を促し、相互レビューで自らの強み発見および改善を促す。					
到達目標	・LinuxOS Webサーバ構築手順書通り、構築できる ・汎用サーバ(さくらインターネット)を操作できる ・仮想マシンVirtualBoxのインストール、設定ができる ・LinuxOSのインストール、設定ができる ・WebサービスApacheのインストールができる ・データベースMySQLのインストール、設定ができる ・プログラミング言語PHPのインストール、設定ができる ・CMS WordPressのインストール、設定ができる ・Apache(Webサーバ)、MySQL(データベースサーバ)、PHP(プログラミング言語)、WordPress(CMS) サービス間の設定、連携、管理、運用ができる ・Webサーバの基礎的なネットワーク、セキュリティの設定、変更管理ができる ・生成AIを活用したレポート作成、プレゼンテーションができる					
授業計画	内　　容					授業時間数
	講義					
	1	オリエンテーション・環境設定:自己紹介、授業の進め方、サーバ概要				6
	2	仮想マシンとは:仮想化環境概要、仮想マシンのインストール・作成・設定				6
	3	Linuxとは:OS概要、OSのインストール・作成・設定・ネットワーク接続・ログイン				6
	4	調査1:ディストリビューションの検証・比較・選定				6
	5	フロントエンド構築:構築手順実演、個人演習、手順書作成(指定OS編)				6
	6	フロントエンド構築:構築手順実演、個人演習、手順書作成(選定OS編)				6
	7	調査2:サーバ、ネットワーク、各種サービス、セキュリティ、関連情報				6
	8	バックエンド構築:構築手順実演、個人演習、本番環境設定				6
	9	本番環境構築1:企画、要件定義				6
	10	本番環境構築2:基本設計				6
	11	本番環境構築3:詳細設計・プログラミング				6
	12	本番環境構築4:結合テスト・システムテスト・運用テスト				6
	13	発表1:プレゼンテーション				6
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
			科目単位数		2	合計時間数
教科書	オリジナル資料					
時間外 学習	Udemy(参考資料)					
成績評価 方法	レポート 30pt、スピーチ 30pt、期末プレゼンテーション 20pt、成果物 20pt					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)3年次	授業方法	演習		講義時期	前期
授業科目	選択演習ⅡA(チャレンジ)	担当者	中村 響・福士 とよみ		科目必修区分	選択
授業概要	学生個々で目標を設定し、独学(動画学習等含む)で目標を達成する					
到達目標	・各自で設定した目標を達成するための手段やスケジューリングを行うことができる ・問題が起こった時の対処法、リスケジューリングができるようになる					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	オリエンテーション				1
	2	目標の設定および進捗方法の確認				77
	3	目標を進める				
	4	進捗率の確認				
	5					
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
		科目単位数		2	合計時間数	
教科書						
時間外 学習	各自目標を進める					
成績評価 方法	授業態度60pt、課題達成率40pt					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)3年次		授業方法	講義、演習	講義時期	後期	
授業科目	システム構築技術Ⅲ(サーバ構築運用)		担当者	山川　こゆき	科目必修区分	必修	
授業概要	これまで学んできた科目の集大成とし「Webサーバ構築および運用」を通して体系的に学んでいく。実社会で利用されている基本的なLAMPサーバ環境を構築し、フロントエンドからバックエンドの各サービスの導入、実践的なサーバ構築・設定・動的Webサイト運用でWeb開発エンジニア、ネットワークエンジニア、インフラエンジニア、セキュリティエンジニア等の仕事内容およびプロセスを学ぶ。実際に社会で活用されているVPNサービス、クラウドサービスを利用し、サービスの知識・技術の活用方法と構築技術を習得する。						
到達目標	- LinuxOSのWebサーバが基本手順通り構築できる。 - Linuxサーバ(さくらインターネット「VPS」「クラウド」活用)を操作できる。 - 一般的なサーバ環境(LinuxOS、Webサービス、データベースサービス、プログラミング言語PHP、CMS「WordPress」)のインストールおよび基本設定、簡単なWebサイト制作、システム運用ログ分析ができる。 - クラウド環境(LinuxOS、Webサービス、データベースサービス、プログラミング言語PHP、CMS「WordPress」)のインストールおよび基本設定、簡単なWebサイト制作、システム運用ログ分析ができる。 - サービス間(Webサービス、データベース、CMS「WordPress」他)との連携、設定、運用、管理ができる。 - サーバ構築の基本的なネットワーク、セキュリティの設定、変更ができる。 - チームビルディングでの構築、設定、運用管理、分析ができる。						
授業計画	内　　　　容					授業時間数	
	講義						
	1	オリエンテーション・環境設定:授業の進め方、構築手順概要、環境設定				4	
	2	ディストリビューションの比較検討・インストール・ダウンロード				4	
	3	各種サービスのインストール・設定・検証				4	
	4	サーバとは:サーバに関する調査(種類・特徴・機能・関連事項)				3	
	5	サーバ要件定義:作成(調査・検討・決定)およびテスト検証				4	
	6	環境の構築:フロントエンド・バックエンド				5	
	7	環境の構築:動的Webサイトの制作				4	
	8	成果物制作				12	
	9	プレゼンテーション				4	
	演習						
	1	VirtualBoxのインストールとネットワーク等設定:講義1				3	
	2	ディストリビューション「AlmaLinux」のインストールと設定:講義2				3	
	3	色々な環境のインストールと設定・検証:講義3～4				3	
	4	Webサービス、DB,関連のインストールと設定・ネットワークの設定:講義6～7				5	
		科目単位数		2	合計時間数		58
	教科書	オリジナル資料「サーバ構築:LAMP環境編」「サーバ構築:クラウド環境編」					
		毎回のレポート:ポートフォリオ手法(学びの記録を蓄積→省察し成果・次回課題を設定)					
	時間外 学習	オンデマンド学習「Udemy」					
成績評価 方法	毎回のレポート　40pt、成果プレゼンテーション　30pt、成果物　30pt						
担当詳細	教員		備考				
実務経験紹介							

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)3年次		授業方法	講義、演習	講義時期	後期	
授業科目	ネットワーク入門Ⅲ(ENSA)		担当者	大城 全揮	科目必修区分	必修	
授業概要	IPアドレッシングやイーサネットの基礎を含む、インターネットや最新のコンピュータ ネットワークを介してユーザー、デバイス、アプリケーション、データを接続するためのアーキテクチャ、モデル、プロトコル、ネットワークを学習します。						
到達目標	・ルーティングプロトコル(OSPF)の設定ができる。 ・ACLを使用してアクセス制御ができる。 ・ネットワークの仮想化、自動化の説明ができる。						
授業計画	内 容					授業時間数	
	1	モジュール1:シングルエリアOSPFv4の概念				4	
	2	モジュール2:シングルエリアOSPFv4の設定				4	
	3	モジュール3:ネットワークセキュリティの概念				4	
	4	モジュール4:ACLの概念				4	
	5	モジュール5:IPv4 ACLの設定				4	
	6	モジュール6:IPv4 NAT				4	
	7	モジュール7:WANの概念				4	
	8	モジュール8:VPNおよびIPsecの概念				4	
	9	モジュール9:QoSの概念				4	
	10	モジュール10:ネットワーク管理				4	
	11	モジュール11:ネットワーク設計				4	
	12	モジュール12:ネットワークのトラブルシューティング				4	
	13	モジュール13:ネットワーク仮想化				4	
	14	モジュール14:ネットワーク自動化				4	
	15	期末試験(筆記・実技)				6	
	16	試験対策				14	
	17						
	18						
	19						
	20						
	21						
	22						
	23						
	24						
	25						
	26						
	27						
	28						
	29						
	30						
		科目単位数			4	合計時間数	76
	教科書	Webテキスト(Cisco academy 提供)					
時間外 学習	パケットトレーサー(実習環境)を使用したラボ実習						
成績評価 方法	章末試験20pt、期末試験(筆記)30pt、期末試験(実技)50pt						
	学校基準により4段階評価とする						
担当詳細	教員		備考				
実務経験紹介							

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)3年次	授業方法	講義、実習	講義時期	後期
授業科目	ログ分析演習 I B(Splunk)	担当者	喜友名 航・中村 響	科目必修区分	必修
授業概要	Splunkを活用し、データを解析・インシデント調査を行い対策方法を含めた発表をPBL形式で行う。				
到達目標	・Splunkを活用しデータの解析ができる。 ・インシデントの特定ができる。 ・インシデントに対して対策方法を提示することができる。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	オリエンテーション(シラバス・コマ配分説明)			2
	2	PBL演習準備/調査トレーニング			4
	3	PBL演習/テーマ決め			2
	4	PBL演習/構築開始(構成整理)			2
	5	PBL演習/発表資料作成			14
	6	PBL演習/進捗報告会			6
	7	MBSD発表資料作成(PBL)			26
	8	PBL演習発表/MBSD授業			12
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
		科目単位数		4	合計時間数
教科書	e-Learning教材、自作教材				
時間外 学習	成果物作成に向けた学習				
成績評価 方法	出席・授業態度 20pt、授業課題 30pt、進捗報告会レポート 20pt、本番発表 30pt				
	学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員		備考		
実務経験紹介					

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)3年次		授業方法	講義、演習		講義時期	後期
授業科目	キャリアデザインⅡB		担当者	赤羽 利夫		科目必修区分	必修
授業概要	社会の構造、企業の構造など、社会人にとって基本的な素養を学習し、就職活動の具体的な進め方について学習・演習する。						
到達目標	・自己分析や企業研究など自発的に取り組み、履歴書を完成させることができる。 ・基本的な就職活動の流れとポイントを押さえて動くことができる ・SPI、CAB、GAB試験の内容を理解し効率的に問題を解くことができる						
授業計画	内 容					授業時間数	
	1	1章:就職活動の基礎を整える				10	
	2	2章:就職活動の実践					
	3	3章:社会人になる前に					
	4	センスアップセミナー(準備・実践)				10	
	5	就活イベント				10	
	6	会社説明会及び面接対策				12	
	7						
	8						
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
	16						
	17						
	18						
	19						
	20						
	21						
	22						
	23						
	24						
	25						
	26						
	27						
	28						
	29						
	30						
				科目単位数	2	合計時間数	42
教科書	KBC学園 就職活動の進め方						
時間外 学習							
成績評価 方法	授業態度20pt、履歴書完成度20pt、取り組み姿勢40p、提出物20pt						
	学校基準により4段階評価とする						
担当詳細	教員		備考				
実務経験紹介							

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)3年次		授業方法	講義、演習		講義時期	後期
授業科目	志学Ⅱ		担当者	赤羽 利夫		科目必修区分	必修
授業概要	やりがいを持てる社会人生活を送る為に、社会との繋がりの中で自分自身の生きる姿勢を探求し、ロールモデルを探し自身の「志」を具体化させていく事を目指す。						
到達目標	志高い人々に学び、能動的に行動するために考える力、伝える力を磨き、自身の働き方、他者理解を含め、社会人としてのあり方を整理し自身の「志」(目標)を立てることができる。						
授業計画	内 容						授業時間数
	1	志学Ⅱ 序章					2
	2	志学Ⅱ 第1章 志とは					2
	3	志学Ⅱ 第2章 感化力「志」高く生きた人に学ぶ					6
	4	志学Ⅱ 第3章 伝える力(思いを言葉に変える力)を磨く					2
	5	志学Ⅱ 第4章 考える力(思考力)を磨く					6
	6	志学Ⅱ 第5章 私の「志」					2
	7						
	8						
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
	16						
	17						
	18						
	19						
	20						
	21						
	22						
	23						
	24						
	25						
	26						
	27						
	28						
	29						
	30						
				科目単位数	1	合計時間数	20
教科書	志学Ⅰ・Ⅱ (KBC学園オリジナルテキスト)						
時間外学習	「私のロールモデル」プレゼンテーション資料作成(100分)						
成績評価方法	授業態度30pt、授業レポート及び課題70pt 学校基準により4段階評価とする						
担当詳細	教員		備考				
実務経験紹介							

シラバス					
令和 8 年度	学校名: 国際電子ビジネス専門学校				
学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)3年次	授業方法	講義、演習	講義時期	後期
授業科目	選択演習ⅡB(セキュリティ)	担当者	比嘉 周平	科目必修区分	選択
授業概要	仮想化技術(VirtualBox)を用いてハッキングラボを構築し、ParrotOSおよびnmap・Metasploit等の診断ツールを操作しながら、プラットフォームの脆弱性診断・侵入手法・権限昇格の基礎を学ぶ。実習ではCTFスタイルのVulnhub VMに対して実際の攻撃フローを体験し、Writeup作成を通じて技術の整理を行い、講義パートではセキュリティ業界の現場・職種・キャリアについても扱う。				
到達目標	・仮想化環境を構築し、ハッキングラボとして機能させることができる ・NmapやMetasploit等の診断ツールを操作し、プラットフォームの脆弱性を検出できる ・Webアプリケーションの代表的な脆弱性(XSS・SQLi等)を理解し、Burp Suite/OWASP ZAPで診断できる				
授業計画	内 容				授業時間数
1	ガイダンス・セキュリティ業界の仕事・ハッキングラボでできること ・授業概要・目標・評価方法の説明 ・セキュリティ倫理・不正アクセス禁止法(法的リスクの確認) ・セキュリティ業界の職種紹介(ペネトレーションテスター・SOCアナリスト等) ・CTF・Vulnhubとは何か／ハッキングラボで何を学ぶか				6
2	仮想環境によるハッキングラボ構築① ・仮想化技術の概念(VMとコンテナの違い) ・VirtualBoxのインストールと基本操作 ・ParrotOS(攻撃用VM)のインポート・起動確認 ・apt update / apt upgrade によるツール最新化				6
3	仮想環境構築②・Linux基本操作 ・ターゲットVMのダウンロードとインポート(Vulnhub) ・NATネットワーク・ホストオンリー設定とIP確認 ・Linux基本コマンド実習: curl / wget / ssh / file / 環境変数 ・ラボ動作確認: 攻撃VM→ターゲットVM間のping疎通				6
4	情報収集の基礎と侵入の流れ ・ハッキング全体フロー解説(偵察→侵入→権限昇格→後処理) ・nmap: ポートスキャン・OS検出・オプション組み合わせ実習 ・gobuster / dirbを使ったディレクトリ探索 ・Burp Suite入門(プロキシ設定・リクエスト確認のみ)				6
5	侵入の基礎・Metasploit・権限昇格入門 ・searchsploitの概念と使い方(概念ベース、手動確認の流れ) ・Metasploit Framework: use / set / run の基本操作 ・Linuxの権限モデル(sudo・SUID・Capability) ・LinPEAS / LinEASを使った権限昇格候補の特定方法				6
6	第1～5回の重要概念振り返り・質疑応答 ・Writeupとは何か: 手順記録・報告書としての意義 ・良いWriteupの構成(環境・情報収集・侵入・昇格・まとめ) ・次回から始まる実習VMの事前確認と準備				6
7	実習① Potato・前半(情報収集～初期侵入) ・VM起動・ネットワーク接続確認(nmap -sn で対象IP特定) ・ポートスキャン・サービス列挙(nmap -sV -sC) ・Webサービス調査・ディレクトリ探索(gobuster) ・脆弱性特定・初期侵入の試行(Metasploit or 手動)				6
8	実習① Potato・後半(権限昇格～Writeup完成・発表) ・SUIDビット悪用・sudo権限設定ミスによる権限昇格 ・root取得・フラグ確認 ・Writeup作成: 手順の整理と文章化 ・班ごとに攻略手順を発表・相互フィードバック				6
9	実習② DC-1・前半(CMS調査～CVE特定～侵入) 【注】WPScanはPotatoの実習後に事前インストール確認済みのこと ・VM起動・Drupal CMS特定(whatweb / nmap) ・DrupalのCVE調査(searchsploit概念 + Metasploit検索) ・Metasploit drupalgeddonモジュールによる初期侵入 ・シェル取得後の基本情報収集(id / uname / hostname)				6

	10	実習② DC-1・後半(権限昇格～Writeup完成・発表) ・設定ファイルからDB認証情報取得・Drupalユーザー探索 ・sudo / SUID探索による権限昇格 ・root取得・全フラグ確認 ・Writeup完成・班発表・相互フィードバック			6
	11	補足実習(習熟度別:Mr-Robot挑戦 or 復習) 【上級者向け】Mr-Robot (WordPress): ・WPScan(手動インストール済み前提)によるユーザー列挙 ・Brute force → シェル取得 → 権限昇格 → root取得 【復習組】Potato / DC-1の未解決ポイントを再挑戦			6
	12	補足実習(習熟度別:Mr-Robot挑戦 or 復習) 【上級者向け】Mr-Robot (WordPress): ・WPScan(手動インストール済み前提)によるユーザー列挙 ・Brute force → シェル取得 → 権限昇格 → root取得 【復習組】Potato / DC-1の未解決ポイントを再挑戦			6
	13	総まとめ・振り返り・サイバーセキュリティ業界の仕事 ・前期全体の振り返り(各回ハイライト・重要概念の再確認) ・最終Writeup提出(Potato または DC-1 の完成版)			6
	14				
	15				
		科目単位数	2	合計時間数	78
教科書	ハッキングラボの作り方-完全版-(翔泳社)				
時間外	「ハッキングラボの作り方」の各章予習・ツール操作の自習・各回配布まとめシートの復習				
学習					
成績評価方法					
	学校基準により4段階評価とする。 【評価方法】 出席・授業参加 50% ・出席率 20% 出席状況に応じて評価します(欠席・遅刻を考慮します) ・授業参加態度 30% 授業・演習への積極的な参加状況に応じて評価します(発言や実習への取り組みを考慮します) ・Writeup提出 50% 実習①②の攻略手順をまとめたWriteupの完成度・記述の正確さ				
担当詳細	教員	備考	講義・実習の進捗から若干のシラバスの変動の場合あり		
実務経験紹介					

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)3年次		授業方法	講義、演習		講義時期	後期
授業科目	選択演習ⅡB(レゴロボ演習)		担当者	大城 政邦		科目必修区分	選択
授業概要	ScratchやC言語でLEGO Mindstorm EV3(レゴロボ)をプログラミングする実習を通し、プログラムの組み方、センサーを含むハードウェアのプログラミングを理解する。開発環境をLinuxとし、Linuxの操作にも慣れることとする。						
到達目標	・ScratchとC言語でプログラムを書けるようになる ・Linuxの基本的なファイル操作ができるようになる ・各種センサーの特徴を理解し、それらを活用したEV3(レゴロボ)を設計通りにプログラミングできるようになる ・チームでの作業を通じてチームワークを身につける						
授業計画	内 容						授業時間数
	1	環境構築					6
	2	C言語基礎(擬似言語との関連付け)					6
	3	C言語基礎(プログラム作成)					12
	4	EV3組立て、Scratch基礎					6
	5	EV3プログラミング(Scratch)					6
	6	EV3プログラミング(Scratch)、センサー活用					6
	7	EV3プログラミング(Scratch)、ライントレース					12
	8	C言語環境構築、EV3プログラミング(C言語)					6
	9	EV3プログラミング(C言語)、センサー活用、ライントレース					6
	10	EV3プログラミング(C言語)、追加課題					9
	11	部品の点検、振り返り					3
	12						
	13						
	14						
	15						
	16						
	17						
	18						
	19						
	20						
	21						
	22						
	23						
	24						
	25						
	26						
	27						
	28						
	29						
	30						
				科目単位数	2	合計時間数	78
教科書	EV3 Classroom プログラミングガイド ロボットで学ぶC言語 プログラミング基礎 独自資料						
時間外学習	課題の作成と提出						
成績評価方法	授業態度30pt、課題提出70pt 学校基準により4段階評価とする						
担当詳細	教員		備考				
実務経験紹介							

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)3年次		授業方法	講義、演習	講義時期	後期
授業科目	選択演習ⅡB(Webシステム開発)		担当者	今頭 翔太	科目必修区分	選択
授業概要	・情報スペシャリスト科で学ぶ、HTML・CSS・PHP(WEB開発技術)を連携し、サイト構築の体験をしながら学習をしていく。 ・PHPのフレームワーク「Laravel」、CSSのフレームワーク「Bootstrap」を使いながら本格的なwebサイト作成にチャレンジする。 ・基礎勉強から作品製作までをチームにて行う。					
到達目標	・仮想環境のDockerを利用した開発できるようになる。 ・PHPやCSSのフレームワークを利用したwebサイトの作成ができるようになる。 ・開発したwebサイトをポートフォリオとして提出できるようになる。 ・チームでの開発ができるようになる。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	オリエンテーション・自己紹介・チーム決め・授業の進め方				3
	2	HTML・CSS基礎 ※Bootstrapも使用				5
	3	PHP,MySQL基礎 dockerを利用した開発				14
	4	PHPフレームワーク「Laravel」の基礎				16
	5	作品製作・ポートフォリオの作成				40
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
				科目単位数	2	合計時間数
教科書	・オンデマンド動画教材「Udemy」 ・オリジナル資料					
時間外学習	・授業内では使用しない「Udemy」教材					
成績評価方法	出席率:15pt・授業態度:15pt、課題提出:30pt、作品提出:40pt					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)3年次		授業方法	講義、演習	講義時期	後期
授業科目	選択実習ⅡB(ヒューマンスキル)		担当者	長嶺 博紀	科目必修区分	選択
授業概要	ゲームやグループディスカッションを通し、社会人として必要なスキル(コミュニケーション能力、新アイデア創出)強化を図る。					
到達目標	・ルール内での創意工夫、斬新な発想を生み出すことができる ・グループで活動しコミュニケーション能力を最大限に発揮できる ・自身の持つアイデア、考えを他者へわかりやすく伝えることができる					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	グループディスカッション				8
	2	グループディスカッションワーク				18
	3	ディベート				5
	4	コミュニケーション力強化				10
	5	社会人としての基礎知識(政治・経済など)				5
	6	リーダー育成				11
	7	プレゼン力強化				6
	8	グループディスカッション(最終)				15
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
				科目単位数	2	合計時間数
教科書	無し					
時間外学習	授業内の各種事例を深く掘り下げる。同様事例を独自に情報収集する					
成績評価方法	出席率15pt、授業態度15pt、科目終了後の授業レポート30pt、プレゼン評価40pt					
	学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)3年次		授業方法	講義、演習	講義時期	後期
授業科目	選択実習ⅡB(サーバ環境構築(実践))		担当者	山川 こゆき	科目必修区分	選択
授業概要	情報スペシャリスト科で学ぶ科目をサーバ構築および運用を通して体系的実践から習得する。社会で利用されているサーバ(さくらインターネット)にフロントエンドからバックエンドで活用されているサービスを導入し、サーバ構築の基礎を学ぶ。オープンソースとして実績の高いサービスの知識・技術の活用方法と構築技術を体得。また、構築手順、エラー対応、バージョンなど詳細確認、レポート提出により問題解決・報告スキルの学習成長を促し、相互レビューで自らの強み発見および改善を促す。					
到達目標	・LinuxOS Webサーバ構築手順書通り、構築できる ・汎用サーバ(さくらインターネット)を操作できる ・仮想マシンVirtualBoxのインストール、設定ができる ・LinuxOSのインストール、設定ができる ・WebサービスApacheのインストールができる ・データベースMySQLのインストール、設定ができる ・プログラミング言語PHPのインストール、設定ができる ・CMS WordPressのインストール、設定ができる ・Apache(Webサーバ)、MySQL(データベースサーバ)、PHP(プログラミング言語)、WordPress(CMS) サービス間の設定、連携、管理、運用ができる ・Webサーバの基礎的なネットワーク、セキュリティの設定、変更管理ができる ・生成AIを活用したレポート作成、プレゼンテーションができる					
授業計画	内 容					授業時間数
	講義					
	1	オリエンテーション・環境設定:自己紹介、授業の進め方、サーバ概要				6
	2	仮想マシンとは:仮想化環境概要、仮想マシンのインストール・作成・設定				6
	3	Linuxとは:OS概要、OSのインストール・作成・設定・ネットワーク接続・ログイン				6
	4	調査1:ディストリビューションの検証・比較・選定				6
	5	フロントエンド構築:構築手順実演、個人演習、手順書作成(指定OS編)				6
	6	フロントエンド構築:構築手順実演、個人演習、手順書作成(選定OS編)				6
	7	調査2:サーバ、ネットワーク、各種サービス、セキュリティ、関連情報				6
	8	バックエンド構築:構築手順実演、個人演習、本番環境設定				6
	9	本番環境構築1:企画、要件定義				6
	10	本番環境構築2:基本設計				4
	11	本番環境構築3:詳細設計・プログラミング				6
	12	本番環境構築4:結合テスト・システムテスト・運用テスト				6
	13	発表1:プレゼンテーション				6
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
			科目単位数	2	合計時間数	76
教科書	オリジナル資料					
時間外学習	Udemy(参考資料)					
成績評価方法	レポート 30pt、スピーチ 30pt、期末プレゼンテーション 20pt、成果物 20pt					
担当詳細	教員	備考				
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)3年次	授業方法	演習		講義時期	後期
授業科目	選択演習ⅡB(チャレンジ)	担当者	中村 響・福士 とよみ		科目必修区分	選択
授業概要	学生個々で目標を設定し、独学(動画学習等含む)で目標を達成する					
到達目標	・各自で設定した目標を達成するための手段やスケジューリングを行うことができる ・問題が起こった時の対処法、リスケジューリングができるようになる					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	オリエンテーション				1
	2	目標の設定および進捗方法の確認				77
	3	目標を進める				
	4	進捗率の確認				
	5					
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
			科目単位数		2	合計時間数
教科書						
時間外 学習	各自目標を進める					
成績評価 方法	授業態度60pt、課題達成率40pt					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)4年次		授業方法	講義・実習	講義時期	通年
授業科目	総合学習		担当者	大城 政邦・今頭 翔太	科目必修区分	必修
授業概要	「豊かな人間性」を育むため、学内外の様々な授業や行事を通して協調性・思いやり・気配り・積極性・感謝など自身の体験を通して身につける科目として位置付ける。					
到達目標	学生クレド(感謝、感動、思いやり・気配り、明朗、挨拶、素直、プラス思考、チャレンジ精神、永久戦力)に基づいて行動することが出来る。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	学期初め・末HR				12
	2	志学講演会				4
	3	親睦会				6
	4	ビーチパーティ				6
	5	学園祭				40
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
				科目単位数	1	合計時間数
教科書						
時間外学習	各授業・行事においての事前準備や調べ学習を指示。前後の各実施委員会活動					
成績評価方法	出席率100pt					
	学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)4年次	授業方法	講義、演習	講義時期	前期
授業科目	AI開発基礎(AI STUDIO)	担当者	大城 政邦	科目必修区分	必修
授業概要	生成 AI の基礎知識や活用方法、開発手法を学習し、制作物を通して実践を行う。 学習した知識や開発手法を活用し、問題解決を実践する。				
到達目標	1. 生成 AI の基礎知識を理解し、開発を行なえる 2. 問題の定義から解決策の実行までの、問題解決方法を理解し実践する 3. 目的に応じて生成 AI を適切に選択し活用できる				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	授業の導入、関連する試験や書籍の紹介			1
	2	自己紹介曲の作成			3
	3	これまでの経験の振り返り			2
	4	はじめてのAI			2
	5	AI活用事例を調べる			4
	6	生成系 AI を知ろう			6
	7	AIとセキュリティ			6
	8	AI時代のシステム開発ドキュメント作成			12
	9	問題解決の考え方を知ろう			3
	10	問題解決型実践PBL			24
	11	AIコーディングアシスタントを利用した開発手法			3
	12	AIコーディングアシスタントを利用した開発実践			4
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
		科目単位数		4	合計時間数
教科書	学習システム(AI STUDIO)内資料 動画教材Udemy「はじめてのAI」 独自資料				
時間外 学習	課題作成と提出、講座の復習				
成績評価 方法	授業態度30pt, 課題提出点70pt				
	学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員		備考		
実務経験紹介					

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)4年次		授業方法	講義、演習	講義時期	前期
授業科目	仮想化演習 I (AWS: 初級)		担当者	今頭 翔太、山川 こゆき	科目必修区分	必修
授業概要	クラウド環境にてクラウドの概念・セキュリティ・テクノロジー・請求と料金など、クラウド技術の中心となる仮想化技術を用いて学習する。					
到達目標	・AWS クラウドを定義できる。 ・AWSの課金の考え方を説明できる。 ・AWS のグローバルインフラストラクチャコンポーネントを特定できる。 ・AWS Identity and Access Management (IAM) を含む AWS クラウドのセキュリティおよびコンプライアンス対策について説明できる。 ・Amazon Virtual Private Cloud (Amazon VPC) を使用して Virtual Private Cloud (VPC) を作成できる。 ・Amazon Elastic Compute Cloud (Amazon EC2)、AWS Lambda、AWS Elastic Beanstalk を使用する場면을デモンストレーションできる。 ・Amazon Simple Storage Service (Amazon S3)、Amazon Elastic Block Store (Amazon EBS)、Amazon Elastic File System (Amazon EFS)、Amazon Simple Storage Service Glacier (Amazon S3 Glacier) の違いを説明できる。 ・Amazon Relational Database Service (Amazon RDS)、Amazon DynamoDB、Amazon Redshift、Amazon Aurora などの AWS データベースサービスを使用する場면을デモンストレーションできる。 ・AWS クラウドアーキテクチャの原則を説明できる。 ・Elastic Load Balancing、Amazon CloudWatch、Amazon EC2 Auto Scaling に関する重要な概念を説明できる。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	オリエンテーション、1章:AWS認定資格				2
	2	2章:AWSクラウドの概念 (モジュール1)				4
	3	3章:AWSのセキュリティ (モジュール4)				4
	4	4章:AWSのテクノロジーとサービス (モジュール3)				4
	5	5章:コンピューティングサービス (モジュール6)				8
	6	6章:ストレージサービス (モジュール7)				4
	7	7章:ネットワークサービス (モジュール5)				4
	8	8章:データベースサービス(モジュール8)				6
	9	9章:AI/ML、ビジネス、分析サービス (モジュール10)				4
	10	10章:オートメーション、デプロイ (モジュール10)				4
	11	11章:モニタリング、管理サービス (モジュール10)				4
	12	12章:移行、導入戦略 (モジュール1)				4
	13	13章:請求、料金、およびサポート (モジュール2)				4
	14	試験対策				32
	15	本試験				2
		科目単位数			4	合計時間数
教科書	AWS認定クラウドプラクティショナー (SBクリエイティブ)、AWS Academyオンデマンド、Web問題集 (Ping-t)					
時間外学習	AWSクラウドサービス活用資料 (初心者向け、サービス別、ハンズオン)					
	AWS Academy ハンズオンラボ					
成績評価方法	授業態度15pt、演習課題・コース評価30pt、演習課題・ラボ評価30pt、資格試験25pt					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)4年次		授業方法	演習		講義時期	前期
授業科目	卒業制作 I A		担当者	中村 響、宇地原 里香		科目必修区分	必修
授業概要	個人ごともしくはグループで、自ら課題を定義し、それをこれまでに学んだ技術・知識を用いて解決し各種の制作物を成果物として作成する。						
到達目標	・研究テーマに沿った技術の習得 ・研究テーマの発表を通して、円滑に発表する事が出来る						
授業計画	内 容						授業時間数
	1	オリエンテーション					1
	2	チーム決め・研究テーマの選択・開発計画の策定					9
	3	研究テーマに沿った学習・開発					44
	4	中間発表の準備					18
	5	中間発表会					6
	6						
	7						
	8						
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
	16						
	17						
	18						
	19						
	20						
	21						
	22						
	23						
	24						
	25						
	26						
	27						
	28						
	29						
	30						
				科目単位数	2	合計時間数	78
教科書	なし						
時間外 学習	研究テーマについての自己学習						
成績評価 方法	授業態度:30pt、中間発表成果物:70pt						
	学校基準により4段階評価とする						
担当詳細	教員		備考				
実務経験紹介							

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)4年次		授業方法	講義、演習	講義時期	前期
授業科目	キャリアデザインⅢ		担当者	赤羽 利夫	科目必修区分	必修
授業概要	企業から内定を獲得するために、応募書類等のブラッシュアップ、自己分析から自己PRや志望動機などへの展開法、面接練習を行う。 社会人になる前にやっておくべきことを認識し、実際に行動に移せるようにする。					
到達目標	1. 自己を振り返る手法(自己分析)を理解し、習得・活用できる 2. 社会で活躍するためのスキルを理解し、身に付けるための行動に移すことができる					
授業計画	内 容				授業時間数	
	1	科目の目的などの説明				1
	2	未内定者 ・応募書類等のブラッシュアップと作成 ・自己分析から自己PRや志望動機などへの展開法 ・面接の練習 ・就職試験受験後の振り返りと対策 内定者 ・社会人になるまでにやっておくべきことの確認 (外部イベントへの参加、新聞などでの情報収集、読書など) ・内定職種に必要な資格取得のための計画の立案と実施				73
	3					
	4					
	5					
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
				科目単位数	2	合計時間数
教科書						
時間外学習						
成績評価方法	授業態度40pt、取り組み姿勢30pt、提出物30pt					
	学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス							
令和 8	年度	学校名: 国際電子ビジネス専門学校					
学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)4年次	授業方法	講義、演習	講義時期	前期		
授業科目	選択演習ⅢA(セキュリティ)	担当者	比嘉 周平	科目必修区分	選択		
授業概要	仮想化技術 (VirtualBox)を用いてハッキングラボを構築し、ParrotOSおよびnmap・Metasploit等の診断ツールを操作しながら、プラットフォームの脆弱性診断・侵入手法・権限昇格の基礎を学ぶ。実習ではCTFスタイルのVulnhub VMに対して実際の攻撃フローを体験し、Writeup作成を通じて技術の整理を行い、講義パートではセキュリティ業界の現場・職種・キャリアについても扱う。						
到達目標	・仮想化環境を構築し、ハッキングラボとして機能させることができる ・NmapやMetasploit等の診断ツールを操作し、プラットフォームの脆弱性を検出できる ・Webアプリケーションの代表的な脆弱性(XSS・SQL等)を理解し、Burp Suite/OWASP ZAPで診断できる						
授業計画	内 容					授業時間数	
1	ガイダンス・セキュリティ業界の仕事・ハッキングラボでできること ・授業概要・目標・評価方法の説明 ・セキュリティ倫理・不正アクセス禁止法(法的リスクの確認) ・セキュリティ業界の職種紹介(ペネトレーションテスター・SOCアナリスト等) ・CTF・Vulnhubとは何か／ハッキングラボで何を学ぶか					6	
2	仮想環境によるハッキングラボ構築① ・仮想化技術の概念(VMとコンテナの違い) ・VirtualBoxのインストールと基本操作 ・Parrot OS(攻撃用VM)のインポート・起動確認 ・apt update / apt upgrade によるツール最新化					6	
3	仮想環境構築②・Linux基本操作 ・ターゲットVMのダウンロードとインポート(Vulnhub) ・NATネットワークホストアドレス設定とIP確認 ・Linux基本コマンド実習:curl / wget / ssh / file / 環境変数 ・ラボ動作確認:攻撃VM→ターゲットVM間のping疎通					6	
4	情報収集の基礎と侵入の流れ ・ハッキング全体フロー解説(偵察→侵入→権限昇格→後処理) ・nmap:ポートスキャン・OS検出・オプション組み合わせ実習 ・gobuster / dirbを使ったディレクトリ探索 ・Burp Suite入門(プロキシ設定・リクエスト確認のみ)					6	
5	侵入の基礎・Metasploit・権限昇格入門 ・searchsploitの概念と使い方(概念ベース、手動確認の流れ) ・Metasploit Framework:use / set / run の基本操作 ・Linuxの権限モデル(sudo・SLiD・Capability) ・LinuxPEAS / LinEnumを使った権限昇格候補の特定方法					6	
6	第1～5回の重要概念振り返り・質疑応答 ・Writeupとは何か・手順記録・報告書としての意義 ・良い Writeupの構成(環境・情報収集・侵入・昇格・まとめ) ・次回から始まる実習VMの事前確認と準備					6	
7	実習① Potato・前半(情報収集～初期侵入) ・VM起動・ネットワーク接続確認(nmap → nmapで対象IP特定) ・ポートスキャン・サービス列挙(nmap → nmap → SVC) ・Webサービス調査・ディレクトリ探索(gobuster) ・脆弱性特定・初期侵入の試行(Metasploit or 手動)					6	
8	実習① Potato・後半(権限昇格～Writeup完成・発表) ・SLiDビルド悪用・sudo権限設定ミスによる権限昇格 ・root取得・フラグ確認 ・Writeup作成:手順の整理と文章化 ・班ごとに攻略手順を発表・相互フィードバック					6	
9	実習② DC-1・前半(CMS調査～CVE特定～侵入) 【注】WPScan2Potatoの実習後に事前インストール確認済みのこと ・VM起動・Drupal CMS特定(whatweb / nmap) ・DrupalのCVE調査(searchsploit概念 + Metasploit検索) ・Metasploit drupalgeddonモジュールによる初期侵入 ・シェル取得後の基本情報収集(id / uname / hostname)					6	
10	実習② DC-1・後半(権限昇格～Writeup完成・発表) ・設定ファイルからDB認証情報取得・Drupalユーザー探索 ・sudo / SLiD探索による権限昇格 ・root取得・全フラグ確認 ・Writeup完成・班発表・相互フィードバック					6	
11	補足実習(習熟度別:Mr-Robot挑戦 or 復習) 【上級者向け】Mr-Robot (WordPress): ・WPScan(手動/インストール済み前提)によるユーザー列挙 ・Brute force → シェル取得 → 権限昇格 → root取得 【復習組】Potato / DC-1の未解決ポイントを再挑戦					6	
12	補足実習(習熟度別:Mr-Robot挑戦 or 復習) 【上級者向け】Mr-Robot (WordPress): ・WPScan(手動/インストール済み前提)によるユーザー列挙 ・Brute force → シェル取得 → 権限昇格 → root取得 【復習組】Potato / DC-1の未解決ポイントを再挑戦					6	
13	総まとめ・振り返り・サイバーセキュリティ業界の仕事 ・前期全体の振り返り(各回・ハイライト・重要概念の再確認) ・最終Writeup提出(Potato または DC-1 の完成版)					6	
14							
15							
16							
17							
				科目単位数	2	合計時間数	78
教科書 ハッキングラボの作り方-完全版-(翔泳社)							
時間外「ハッキングラボの作り方」の各章予習・ツール操作の自習・各回配布まとめシートの復習							
学習							
成績評価方法	学校基準により4段階評価とする。						
	【評価方法】 出席・授業参加 50% ・出席率 20% 出席状況に応じて評価します(欠席・遅刻を考慮します) ・授業参加態度 30% 授業・演習への積極的な参加状況に応じて評価します(発言や実習への取り組みを考慮します) ・Writeup提出 50% 実習①②の攻略手順をまとめたWriteupの完成度・記述の正確さ						
担当詳細		教員	備考	講義・実習の進捗から若干のシラバスの変動の場合あり			
実務経験紹介		机上訓練ファシリテーター・標的型メール攻撃運用 現在はセキュリティエンジニアとして、Tenable Oneを中心としたエクスポージャー管理サービスの設計・構築・運用に従事					

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)4年次		授業方法	講義、演習	講義時期	前期
授業科目	選択演習ⅢA(レゴロボ演習)		担当者	大城 政邦	科目必修区分	選択
授業概要	ScratchやC言語でLEGO Mindstorm EV3 (レゴロボ) をプログラミングする実習を通し、プログラムの組み方、センサーを含むハードウェアのプログラミングを理解する。開発環境をLinuxとし、Linuxの操作にも慣れることとする。					
到達目標	・ScratchとC言語でプログラムを書けるようになる ・Linuxの基本的なファイル操作ができるようになる ・各種センサーの特徴を理解し、それらを活用したEV3 (レゴロボ) を設計通りにプログラミングできるようになる ・チームでの作業を通じてチームワークを身につける					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	環境構築				6
	2	C言語基礎(擬似言語との関連付け)				6
	3	C言語基礎(プログラム作成)				12
	4	EV3組立て、Scratch基礎				6
	5	EV3プログラミング(Scratch)				6
	6	EV3プログラミング(Scratch)、センサー活用				6
	7	EV3プログラミング(Scratch)、ライントレース				12
	8	C言語環境構築、EV3プログラミング(C言語)				6
	9	EV3プログラミング(C言語)、センサー活用、ライントレース				6
	10	EV3プログラミング(C言語)、追加課題				9
	11	部品の点検、振り返り				3
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
			科目単位数		2	合計時間数
教科書	EV3 Classroom プログラミングガイド ロボットで学ぶC言語 プログラミング基礎 独自資料					
時間外学習	課題の作成と提出					
成績評価方法	授業態度30pt、課題提出70pt 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)4年次	授業方法	講義、演習	講義時期	前期
授業科目	選択演習ⅢA(webシステム開発)	担当者	今頭 翔太	科目必修区分	選択
授業概要	・情報スペシャリスト科で学ぶ、HTML・CSS・PHP(WEB開発技術)を連携し、サイト構築の体験をしながら学習をしていく。 ・PHPのフレームワーク「Laravel」、CSSのフレームワーク「Bootstrap」を使いながら本格的なwebサイト作成にチャレンジする。 ・基礎勉強から作品製作までをチームにて行う。				
到達目標	・仮想環境のDockerを利用した開発できるようになる。 ・PHPやCSSのフレームワークを利用したwebサイトの作成ができるようになる。 ・開発したwebサイトをポートフォリオとして提出できるようになる。 ・チームでの開発ができるようになる。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	オリエンテーション・自己紹介・チーム決め・授業の進め方			3
	2	HTML・CSS基礎 ※Bootstrapも使用			5
	3	PHP,MySQL基礎 dockerを利用した開発			14
	4	PHPフレームワーク「Laravel」の基礎			16
	5	作品製作・ポートフォリオの作成のやり方を学ぶ			40
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
		科目単位数		2	合計時間数
教科書	・オンデマンド動画教材「Udemy」 ・オリジナル資料				
時間外学習	・授業内では使用しない「Udemy」教材				
成績評価方法	出席率:15pt・授業態度:15pt、課題提出:30pt、作品提出:40pt				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)4年次		授業方法	講義、演習	講義時期	前期
授業科目	選択演習ⅢA(ヒューマンスキル)		担当者	長嶺 博紀	科目必修区分	選択
授業概要	ゲームやグループディスカッションを通し、社会人として必要なスキル(コミュニケーション能力、新アイデア創出)強化を図る。					
到達目標	・ルール内での創意工夫、斬新な発想を生み出すことができる ・グループで活動しコミュニケーション能力を最大限に発揮できる ・自身の持つアイデア、考えを他者へわかりやすく伝えることができる					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	グループディスカッション				8
	2	グループディスカッションワーク				18
	3	ディベート				5
	4	コミュニケーション力強化				10
	5	社会人としての基礎知識(政治・経済など)				5
	6	リーダー育成				11
	7	プレゼン力強化				6
	8	グループディスカッション(最終)				15
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
				科目単位数	2	合計時間数
教科書	無し					
時間外学習	授業内の各種事例を深く掘り下げる。同様事例を独自に情報収集する					
成績評価方法	出席率15pt、授業態度15pt、科目終了後の授業レポート30pt、プレゼン評価40pt					
	学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)4年次	授業方法	講義、演習	講義時期	前期	
授業科目	選択演習ⅢA(サーバ環境構築(実践))	担当者	山川 こゆき	科目必修区分	選択	
授業概要	情報スペシャリスト科で学ぶ科目をサーバ構築および運用を通して体系的実践から習得する。社会で利用されているサーバ(さくらインターネット)にフロントエンドからバックエンドで活用されているサービスを導入し、サーバ構築の基礎を学ぶ。オープンソースとして実績の高いサービスの知識・技術の活用方法と構築技術を体得。また、構築手順、エラー対応、バージョンなど詳細確認、レポート提出により問題解決・報告スキルの学習成長を促し、相互レビューで自らの強み発見および改善を促す。					
到達目標	・LinuxOS Webサーバ構築手順書通り、構築できる ・汎用サーバ(さくらインターネット)を操作できる ・仮想マシンVirtualBoxのインストール、設定ができる ・LinuxOSのインストール、設定ができる ・WebサービスApacheのインストールができる ・データベースMySQLのインストール、設定ができる ・プログラミング言語PHPのインストール、設定ができる ・CMS WordPressのインストール、設定ができる ・Apache(Webサーバ)、MySQL(データベースサーバ)、PHP(プログラミング言語)、WordPress(CMS)サービス間の設定、連携、管理、運用ができる ・Webサーバの基礎的なネットワーク、セキュリティの設定、変更管理ができる ・生成AIを活用したレポートニング、プレゼンテーションができる					
授業計画	内 容				授業時間数	
	講義					
	1	オリエンテーション・環境設定:自己紹介、授業の進め方、サーバ概要			6	
	2	仮想マシンとは:仮想化環境概要、仮想マシンのインストール・作成・設定			6	
	3	Linuxとは:OS概要、OSのインストール・作成・設定・ネットワーク接続・ログイン			6	
	4	調査1:ディストリビューションの検証・比較・選定			6	
	5	フロントエンド構築:構築手順実演、個人演習、手順書作成(指定OS編)			6	
	6	フロントエンド構築:構築手順実演、個人演習、手順書作成(選定OS編)			6	
	7	調査2:サーバ、ネットワーク、各種サービス、セキュリティ、関連情報			6	
	8	バックエンド構築:構築手順実演、個人演習、本番環境設定			6	
	9	本番環境構築1:企画、要件定義			6	
	10	本番環境構築2:基本設計			6	
	11	本番環境構築3:詳細設計・プログラミング			6	
	12	本番環境構築4:結合テスト・システムテスト・運用テスト			6	
	13	発表1:プレゼンテーション			6	
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
		科目単位数			2	合計時間数
教科書	オリジナル資料					
時間外学習	Udemy(参考資料)					
成績評価方法	レポート 30pt、スピーチ 30pt、期末プレゼンテーション 20pt、成果物 20pt					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)4年次		授業方法	演習		講義時期	前期
授業科目	選択演習ⅢA(チャレンジコース)		担当者	赤羽 利夫		科目必修区分	選択
授業概要	学生個々で目標を設定し、独学(動画学習等含む)で目標を達成する						
到達目標	・各自で設定した目標を達成するための手段やスケジューリングを行うことができる ・問題が起こった時の対処法、リスケジューリングができるようになる						
授業計画	内 容						授業時間数
	1	オリエンテーション					1
	2	目標の設定および進捗方法の確認					77
	3	目標を進める					
	4	進捗率の確認					
	5						
	6						
	7						
	8						
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
	16						
	17						
	18						
	19						
	20						
				科目単位数	2	合計時間数	
教科書							
時間外 学習	各自目標を進める						
成績評価 方法	授業態度60pt、課題達成率40pt						
担当詳細	教員		備考				
実務経験紹介							

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)4年次	授業方法	講義、演習	講義時期	後期
授業科目	AI開発演習(AI STUDIO)	担当者	大城 政邦	科目必修区分	選択
授業概要	ビジネスシーンにおける生成AI活用法を実践する。 scikit-learnを使った機械学習を体系的に学習し、各手法を実践する。				
到達目標	1. 目的に応じて生成AIを適切に選択し活用できる 2. scikit-learn を使ったコードを読み、実行できる 3. 基礎で学習した問題解決法を新たな課題に適用できる				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	授業の導入			1
	2	ビジネスシーンで使える生成AIの活用方法			5
	3	scikit-learnで色々な機械学習を試してみよう			10
	4	AI・機械学習の基礎と精度の測り方をコンパクトに学ぼう			5
	5	問題解決型実践PBL2			29
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
		科目単位数		2	合計時間数
教科書	学習システム内(AI STUDIO)資料 動画教材Udemy「DX推進者に不可欠なAI・機械学習の基礎と精度の測り方をコンパクトに学ぼう！」 独自資料				
時間外 学習	課題作成と提出、講座の復習				
成績評価 方法	授業態度30pt, 課題提出点70pt				
	学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員		備考		
実務経験紹介					

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)4年次		授業方法	講義、演習	講義時期	後期
授業科目	仮想化演習Ⅱ(AWS:中級)		担当者	今頭 翔太、山川 こゆき	科目必修区分	選択
授業概要	入門の知識を基にチームで実務レベルのクラウド環境構築を行う。安全で堅牢な設計に加え、高度な技術を習得する。要件定義から実装までを完遂し、現場で通用する実践的提案力を養う。					
到達目標	・AWS Well-Architectedに基づいた最適で堅牢なシステムの設計 ・IaCツールを活用した、再現性と信頼性の高い環境構築の自動化 ・セキュリティ、可用性、運用性を統合した高度なクラウド機能の実装 ・チーム内での役割遂行と共同作業を通じた、実務的なプロジェクト推進					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	オリエンテーション:				1
		第1期:高度な知識のインプットとチーム結成				
	2	入門復習、高度なネットワーキング(Transit Gateway, Direct Connect)、DBの最適化				4
	3	チーム編成、プロジェクトテーマの発表(例:高負荷に耐えるECサイト、グローバル展)				3
		第2期:要件定義と基本設計				
	4	AWS Well-Architectedフレームワークの学習、チームでの要件定義				4
	5	基本設計(VPC設計、IAMポリシー策定)				4
		第3期:実装スプリント①(基盤構築と自動化)				
	6	CloudFormation / Terraform を活用した「Infrastructure as Code (IaC)」の導入				4
	7	セキュリティの実装(WAF, KMS, Secrets Manager)				4
	8	CI/CDパイプラインの構築(CodeCommit, CodeBuild, CodeDeploy)				4
		第4期:実装スプリント②(最適化と負荷試験)				
	9	サーバーレスアーキテクチャ(Lambda, API Gateway)の統合				4
	10	運用監視(CloudWatch Dashboard, SNS通知)とログ解析				4
	11	負荷試験とコスト最適化、Well-Architectedに基づいた自習修正				4
		第5期:集大成				
	12	各チームによるデモと設計思想の発表。相互レビュー				4

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)4年次		授業方法	演習		講義時期	後期
授業科目	卒業制作 I B		担当者	宇地原 里香、伊禮 利一		科目必修区分	選択
授業概要	個人ごともしくはグループで、自ら課題を定義し、それをこれまでに学んだ技術・知識を用いて解決し各種の制作物を成果物として作成する。						
到達目標	・研究テーマに沿った技術の習得 ・研究テーマの発表を通して、円滑に発表する事が出来る						
授業計画	内 容						授業時間数
	1	開発スケジュールの見直し					1
	2	研究テーマに沿った学習・開発					41
	3	発表に向けた準備					24
	4	卒業研究発表会					6
	5						
	6						
	7						
	8						
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
	16						
	17						
	18						
	19						
	20						
	21						
	22						
	23						
	24						
	25						
	26						
	27						
	28						
	29						
	30						
				科目単位数	2	合計時間数	72
教科書	なし						
時間外 学習	研究テーマについての自己学習						
成績評価 方法	授業態度:30pt、本番発表成果物:70pt						
	学校基準により4段階評価とする						
担当詳細	教員		備考				
実務経験紹介							

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)4年次		授業方法	演習		講義時期	後期
授業科目	ビジネスマナーⅢ		担当者	藤吉 綾子		科目必修区分	選択
授業概要	社会人として必要不可欠なビジネスマナーや電話応対、ビジネスルールをロールプレイを通して実践的に学習する						
到達目標	・身だしなみの重要性を認識し、TPOに合わせ身だしなみを整えることが出来る・名刺の正しい扱い方を身につける(受け方、出し方、同時交換の仕方) ・ビジネス電話の基本を踏まえ好感の持てる応対が出来る						
授業計画	内 容						授業時間数
	1	社会人としての心構え(学生と社会人の違い、身だしなみ、言葉遣い)					2
	2	尊敬語と謙譲語の使い分け					2
	3	名刺の取り扱い方					
	4	【演習】名刺の受け方・出し方、同時交換の仕方					2
	5	来客応対(応接室や乗り物などの席次)					2
	6	電話応対					
	7	【演習】受け方(在社、不在時の対応→伝言メモの作成)					4
	8	【演習】かけ方					2
	9	慶弔のマナー					2
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
	16						
	17						
	18						
	19						
	20						
	21						
	22						
	23						
	24						
	25						
	26						
	27						
	28						
	29						
	30						
				科目単位数	1	合計時間数	16
教科書	実践ビジネスマナー						
時間外学習	なし						
成績評価方法	出席率(25%)・授業態度(25%)・提出物(25%)・期末テスト(25%)						
担当詳細	教員		備考				
実務経験紹介							

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)4年次		授業方法	演習		講義時期	後期
授業科目	選択演習ⅢB(チャレンジコース)		担当者	赤羽 利夫		科目必修区分	選択
授業概要	学生個々で目標を設定し、独学(動画学習等含む)で目標を達成する						
到達目標	・各自で設定した目標を達成するための手段やスケジューリングを行うことができる ・問題が起こった時の対処法、リスケジューリングができるようになる						
授業計画	内 容					授業時間数	
	1	オリエンテーション					1
	2	目標の設定および進捗方法の確認					75
	3	目標を進める					
	4	進捗率の確認					
	5						
	6						
	7						
	8						
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
	16						
	17						
	18						
	19						
	20						
				科目単位数	2	合計時間数	
教科書							
時間外 学習	各自目標を進める						
成績評価 方法	授業態度60pt、課題達成率40pt						
担当詳細	教員		備考				
実務経験紹介							

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)4年次		授業方法	実習		講義時期	後期
授業科目	企業実習Ⅰ		担当者	企業担当者		科目必修区分	選択
授業概要	・学校で学んだ知識や技術を現場で再確認し、「現場での実践」を体験する事で自身の学習の不足部分や実務能力を高める機会とする。 ・学生生活とは異なる社会人としてのあるべき姿を、現場の方々のご指導や助言をもとに学び、自己課題を明確に出来る機会とする。						
到達目標	・研修先の業界の特徴を3項目以上挙げられる。 ・研修内容を整理し、課題を発見する事が出来る。 ・次段階の目標を設定し、実行の計画を立案する事が出来る。						
授業計画	内 容					授業時間数	
	1	内定先企業において実務を伴う実習を行う					129
	2						
	3						
	4						
	5						
	6						
	7						
	8						
	9						
	10						
				科目単位数	4	合計時間数	129
教科書							
時間外 学習	新聞等においてニュース記事の情報収集						
	研修先業界の最新情報収集						
成績評価 方法	実習報告書100pt						
担当詳細	実務家		備考				
実務経験紹介							

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)4年次		授業方法	実習		講義時期	後期
授業科目	企業実習Ⅱ		担当者	企業担当者		科目必修区分	選択
授業概要	・学校で学んだ知識や技術を現場で再確認し、「現場での実践」を体験する事で自身の学習の不足部分や実務能力を高める機会とする。 ・学生生活とは異なる社会人としてのあるべき姿を、現場の方々のご指導や助言をもとに学び、自己課題を明確に出来る機会とする。						
到達目標	・研修先の業界の特徴を3項目以上挙げられる。 ・研修内容を整理し、課題を発見する事が出来る。 ・次段階の目標を設定し、実行の計画を立案する事が出来る。						
授業計画	内 容					授業時間数	
	1	内定先企業において実務を伴う実習を行う					129
	2						
	3						
	4						
	5						
	6						
	7						
	8						
	9						
	10						
				科目単位数	4	合計時間数	129
教科書							
時間外 学習	新聞等においてニュース記事の情報収集						
	研修先業界の最新情報収集						
成績評価 方法	実習報告書100pt						
担当詳細	実務家		備考				
実務経験紹介							

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)4年次		授業方法	講義、演習		講義時期	前期
授業科目	プログラミング言語Ⅲ (Python)		担当者	福士 とよみ		科目必修区分	必修
授業概要	Python言語の基本文法、オブジェクト指向プログラミング(クラス・オブジェクト)を学習する。 Pythonを使った、デスクトップアプリやスクレイピングのプログラミングを体験する。						
到達目標	・基本的なPython言語のプログラムを作ることができる。 ・オブジェクト指向プログラミングの考え方に沿ったプログラムが作成できる。 ・技術者として成長するため、高い意識を持ってプログラミングにチャレンジできる。						
授業計画	内 容						授業時間数
	1	開発環境の整備					2
	2	セクション1: イントロダクション					1
	3	セクション2: 学習の準備をしよう					1
	4	セクション3: 基本的なコードを書こう					6
	5	セクション4: 演算子を使ってみよう					5
	6	セクション5: データをまとめて扱おう					6
	7	セクション6: 制御文を書いてみよう					8
	8	セクション7: 文章を扱ってみよう					6
	9	セクション8: 関数に処理をまとめてみよう					10
	10	セクション9: オブジェクト指向を学ぼう					12
	11	セクション10: ファイルと例外処理を学ぼう					6
	12	セクション11: デスクトップアプリを作ってみよう					5
	13	セクション12: Webスクレイピングをやってみよう					4
	14	セクション13: さらに学びたい方のために					1
	15	セクション14・15: ボーナスレクチャーと確認テスト					1
	16						
	17						
	18						
	19						
	20						
	21						
	22						
	23						
	24						
	25						
	26						
	27						
	28						
	29						
	30						
				科目単位数	3	合計時間数	74
教科書	【動画教材】はじめてのPython 少しずつ丁寧に学ぶプログラミング言語Python3のエッセンス オリジナル教材						
時間外 学習	授業時間内で終わらなかった動画教材(Udemy)視聴、演習問題、実行課題						
	オンライン教材(Paizaラーニング)による自主学習環境を提供						
成績評価 方法	授業態度20pt、動画の視聴状況40pt、課題の提出40pt						
	学校基準により4段階評価とする						
担当詳細	教員		備考				
実務経験紹介							

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)4年次		授業方法	講義、演習		講義時期	後期
授業科目	Webフレームワーク入門(Django)		担当者	福士 とよみ		科目必修区分	選択
授業概要	Pythonで実装されたフレームワークであるDjangoで、Webアプリの開発を行う。Djangoでの開発を体験することによって、Webアプリケーション、フレームワークについて知る。 また、オンデマンド教材を活用し、最先端の技術をいち早く身に付ける。						
到達目標	・Webアプリケーション、フレームワーク、Djangoについて説明できる。 ・Djangoを使った、基礎的なWebアプリケーションを作成できる。 ・技術者として成長するため、高い意識を持ってアプリの開発にチャレンジできる。						
授業計画	内 容						授業時間数
	1	科目の導入・授業の進め方について					1
	2	セクション1:Djangoのバージョンと講義内容につきまして					0.5
	3	セクション2:はじめに(Django2/3共通)					0.5
	4	セクション9:フレームワークとは(Django3)					1
	5	セクション10:仮想環境の構築(Django3)					4
		セクション11:Hello world アプリ(Django3)					
	6	Djangoの起動・プロジェクトとsettings.pyファイル					2
	7	Hello world の表示(function based view)					1
	8	Hello world の表示(class based view)					1
	9	BASE_DIR の実験					1
	10	app is called! の表示(Djangoの「アプリ」を使用)					2
	11	【Hello world アプリ 作成後の課題】					
		セクション12:Todoアプリ(Django3)					
	12	初期設定					1
	13	モデル(テーブル)の作成					2
	14	管理ユーザの作成					1
	15	ListView(一覧表示画面)					2
	16	DetailView(詳細表示画面)・Bootstrap・base.html・list.html改訂					4
	17	CreateView(新規作成画面)					2
	18	DeleteView(削除画面)・UpdateView(更新画面)・レイアウトの調整					4
	19	【ToDo アプリ 作成後の課題】					
		セクション13:社内SNSアプリ(Django3)					
	20	初期設定					1
	21	SignupView(ユーザ登録画面)					4
	22	LoginView(ログイン画面)・ListView(一覧表示画面)					2
	23	Imageファイル、CSSファイルの扱い方・ログアウト機能					2
	24	Detail View(詳細画面)					2
	25	いいね機能、既読機能					1
	26	CreateView(新規作成画面)					2
	27	【社内SNS アプリ 作成後の課題】					
	28	まとめ、予備					4
			科目単位数	3	合計時間数		48
教科書	(Udemy教材)【徹底的に解説!】Djangoの基礎をマスターして、3つのアプリを作ろう! オリジナル教材						
時間外学習	授業時間内で終わらなかったレクチャーの視聴 期限までに動画のアプリ3つを完成させるための時間外学習						
成績評価方法	授業態度20pt、動画アプリ3つの完成50pt、課題アプリの作成30pt 学校基準により4段階評価とする						
担当詳細	教員		備考				
実務経験紹介							